週刊 YEARBOOK

1995 平成7年

日録20世紀

1|26
平成11年1月26日発行
(毎週1回火曜日発行)
第3巻第3号 通巻95号
平成10年8月21日第三種郵便物認可
¥560
講談社

阪神・淡路大震災!

「地下鉄サリン事件」とオウム真理教の恐怖!
少女を襲った「米兵暴行事件」と沖縄の怒り
大騒動!「ウィンドウズ95」日本発売開始

「なんで、神戸の街がこんな目に遭わなければならないのか!」

阪神・淡路大震災の悲惨な“爪痕”

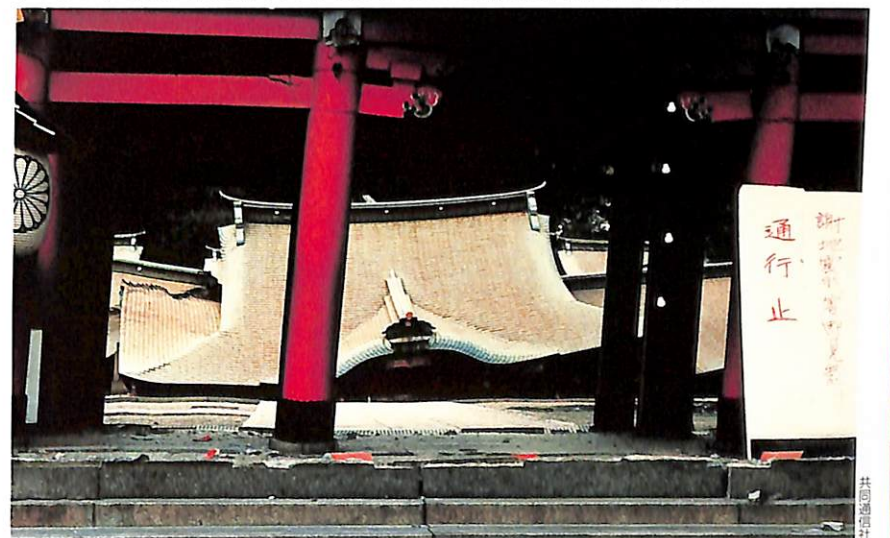
死者・行方不明者6308人、負傷者4万人以上

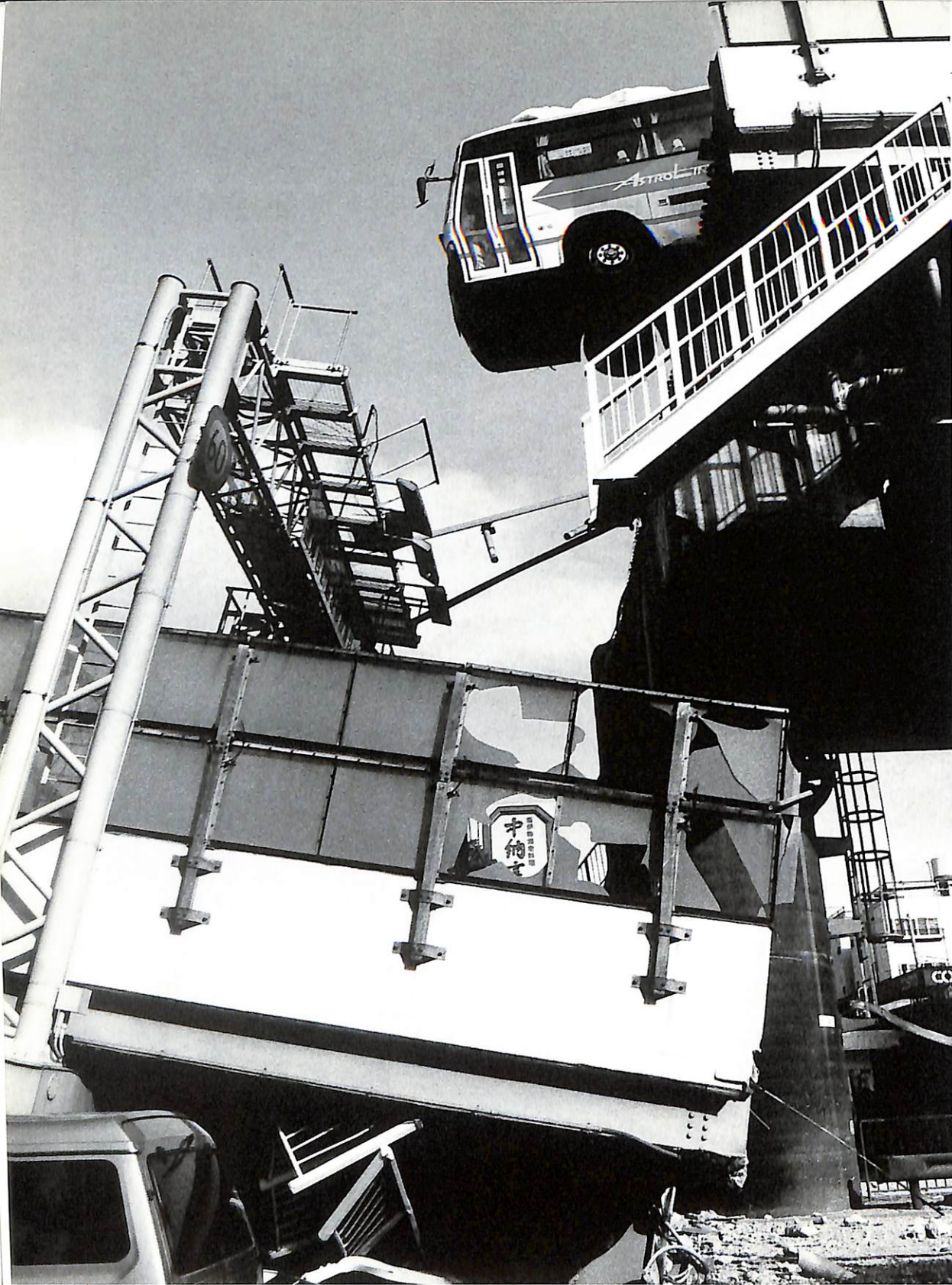
平成7年1月17日早朝、関西の大地が日本の観測史上最大の激しい揺れに見舞われた。マグニチュード7.2、震源は兵庫県淡路島北東の北緯34度6分、東経135度——震源の深さがわずか14㌔。というこの直下型大地震は、都市災害のすさまじさを見せつける一方で、ヒューマンネットワークを含めた町造りのあり方など、数々の教訓をあらためて突きつけている。

▼神戸市東灘区で、大阪と神戸を結ぶ阪神高速道路・神戸線が635メートルにわたってもろくも崩壊。横方向からの震動に耐えられなかった。

共同通信社

▲平成7年1月17日午前5時46分、阪神間を大地震が直撃した。日本でも有数の人口密集地帯は、わずか20秒で瓦礫の山と化し、炎に包まれてしまった(17日、神戸市長田区で)。 朝日新聞社

共同通信社

▲神戸市中央区の生田神社は、拝殿が倒壊、楼門や鳥居が大きく傾く被害を受けた。

◎表紙 「阪神・淡路大震災」は、さまざまな被害をもたらした。その破壊力のものすごさに日本中が驚いた。写真は、横倒しになった阪神高速道路・神戸線。 朝日新聞社

◀高速道路の倒壊は安全神話の崩壊でもあった。転落するなどして4人が、また落下した高架部の下敷きで二人が、死亡した（17日、西宮市）。

朝日新聞社

高速道路六三五メートル横倒し 消火活動も「焼け石に水」

平成七年一月一七日午前五時四六分、突如として襲ったマグニチュード七・二の「阪神・淡路大震災」で、神戸の街は倒壊、火の海に包まれた。

「建物の下敷きになった人は、大きな悲鳴をあげ、助けを求めているのですが、なかなか救い出せない。そのうち火がまわり、ただ唖然とするばかりでした。今でも助けを求める声は耳から離れません」

ポートアイランドの仮設住宅に暮らす大滝孝さん（現・七〇歳）が語る。

また、みずからも、神戸に近い大阪府豊中市の自宅で地震の直撃を受けたジャーナリストの大谷昭宏氏は、「なんで、神戸の街がこんな目に遭わなければならないのか！　被災地に向かう途中、フィッシングボートから神戸市内に立ちのぼる煙を見た時、無性に悲しく涙が流れました。上陸すると、そこはまさに地獄、瓦礫の中から助けを求める声、路上で息絶える人……。こうした中での取材は初めてのことでした」と当時を回想する。

「阪神・淡路大震災」は、直下型地震と都市型災害のおそろしさを見せつけた。地震発生と同時に道路は大渋滞となり、救援活動の障害になったのはもちろん、水道管の破裂で、消火栓が使えなくなったのは想像外のことであった。川からポンプで水を吸い上げたり、半壊した公衆浴場からバケツリレーで必死に消火にあたったところもあったが、それはまさに焼け石に水でしかなかった。

地震は、都市機能をも直撃した。交通機関では、阪神高速道路が三号神戸線深江出入り口付近の高架部が六三五メートルにわたって横倒しになり、これまで見たこともない異様な光景に誰もが自分の目を疑った。山陽新幹線でも八ヵ所の高架橋の橋桁が落下、神戸港も液状化現象により甚大な被害をこうむった。

ライフラインも大きな打撃を受けた。約二六〇万世帯が停電、ガスは約八五万世帯で供給がストップ、水道も約一二九万世帯で断水した。電話は最大時約三〇万回線が不通となり、被害の実態把握を大幅に遅らせていた。被害総額は、国土庁の推定でざっと九兆六〇〇〇億円と見積もられたのである。

その結果、数多くの人が住む場所を失い、ピーク時の一月二三日には、兵庫県内一一五三ヵ所の避難所には、ほぼ高知市の人口に相当する三二万人もの人たちが避難した。そしてその後、死者・行方不明者六三〇八人、負傷者四万三一七七人（そのうち、淡路島の死者は五九人、負傷者は一一一八人）にのぼることが明らかになったのである。

震災が心に残した傷痕！ 今なお苦しむ二割の人々

あれから三年九ヵ月後の、平成一〇年一〇月――「復興」した神戸の繁華街は、何事もなかったようににぎわっていた。

▲淡路島では、震源地に近い北淡町を中心に北部の民家7600戸が全半壊、59人が死亡した。築50年以上の民家はほとんど全壊。墓石や大鳥居、石灯籠も倒れた。　共同通信社

「なんで、神戸の街がこんな目に遭わなければならないのか！」
死者・行方不明者6308人、負傷者4万人以上
阪神・淡路大震災の悲惨な"爪痕"

▶1月18日午前9時前、神戸市長田区の燃え落ちた自宅跡で、茫然と座りこむ出口恵美子さん（47）。逃げ遅れた母親の遺骨を見つけた直後だった。

▼崩れ落ちた文化住宅から怪我人を運び出す。担架代わりの畳をかつぐ人の中には、通りすがりの人もいる。

永山竜叶　筒井万里提供

久米洋一　中日新聞社

「なんで、神戸の街がこんな目に遭わなければならないのか!」
死者・行方不明者6308人、負傷者4万人以上

阪神・淡路大震災の悲惨な"爪痕"

平成7年1月17日、何が起きたのか?

時刻	出来事
5:46	地震発生
5:49	NHKテレビ、「大きな揺れ」第1報。
6:00	東海道・山陽新幹線、運転ストップ。
7:00	兵庫県が災害対策本部を設置。
7:54	京都市伏見区の国宝・醍醐寺五重塔などの漆喰に被害判明。
8:15	西宮、神戸市内の阪神高速道路で高架橋が落下、落ちた車数十台と報告。
9:12	国立明石病院に50人収容、一人死亡。
9:35	神戸港の岸壁が約2㍍沈下しているのを、神戸海上保安部が確認。
10:00	警察庁、死者22人負傷者223人と発表。
10:00	兵庫県が陸上自衛隊に災害派遣要請。
11:50	日赤が大阪・広島など8府県から医師、看護婦を現地へ派遣と発表。
14:10	神戸市長田区の西市民病院で5階部分が崩壊、47人生き埋めと判明。
15:00	神戸市東灘区魚崎北町の火災が、強い北風で100㍍四方に延焼。
15:00	大阪市消防局が、西宮市にヘリコプターで治療用血液製剤を緊急輸送。
17:00	神戸市、市内小学校で給水開始。
17:30	滋賀県がポンプ車などを応援出動。
17:30	大阪府警から警察官400人が兵庫県へ。
17:32	食糧庁が政府米6万4000食、乾パン4500食の緊急供給を発表。
18:07	新幹線、名古屋・京都間で運転再開。
19:30	神戸市長田区大正筋商店街が全焼。
21:00	警察庁が死者1311人、行方不明者1048人、負傷者4241人と発表。
22:30	西市民病院で建物に閉じこめられた47人のうち一人を残し46人救出。

▲焼失、全半壊した家屋は43万棟を超えた。加えて直後に発生した大火災は、神戸市街を大混乱におとしいれた。

神戸市須磨区で。　読売新聞社

しかし、長田区の一角に足を踏み入れると、今も空き地とプレハブ風の民家が混在する深い爪痕が残っていた。

「見てくださいよ。まわりの工場はなくなり、住んでいた人たちさえ戻ってきませんよ。震災前には三七あった店も、その後お金を借り、必死に商売を再開したのは二〇店。しかし今、ここは区画整理が進み、将来は六人の組合員だけが残り、共同でスーパーを作る計画を進めています。淋しい限りだね」

こう語るのは、菅原市場協同組合理事長の清水政夫氏(現・七〇歳)だ。

仮設住宅はどうなっているだろうか。

入居契約戸数が最大となったのは、平成七年一一月の四万六六一七戸。今も、その約二割にあたる八九五一世帯が暮らしている。県や市は平成一〇年中にすべての仮設住宅を解消するため、居住者を公営住宅などへ移転させる予定という。

東灘区の住吉公園仮設住宅もそのひとつ。そこには四九世帯が住んでいるが、大半は一人暮らし。自治会では、「老人給食」や「ふれあい喫茶」を開き、みんなで寄り合う機会を作っているが、将来への不安は拭いきれない。

「ここでは同じ身の上にあるたくさんの友達ができて、一人暮らしでも淋しくありません。しかし、公営住宅に移れば、隣はまるで他人でしょう。人とのつきあいがなくなったら、どうなるんでしょうか」と長谷富美子さん(現・七四歳)が話すと、ご主人と二人暮らしの伊藤悦子さん(現・六四歳)は、「公営住宅に移ったら、友達は呼べるし、お風呂にもゆっくり入れる」と笑顔で語る。

震災は、生活基盤を奪っただけではなかった。心の傷も癒えていないと語るのは、兵庫県荒田分室にある「こころのケアセンター」医師・加藤寛氏だ。

「心配なのは、震災の恐怖が潜在化したまま、その恐怖から逃げようとしたり、それを極端に回避しようとするPTSD(心的外傷後ストレス障害)です。不眠や抑鬱といったことが起こります。こうした人は、被災者の二割はいると推定されており、今後、長期的なメンタル・ヘルス・ケアの必要があるのです」

この「阪神・淡路大震災」は、私たちに何を突きつけたのか。

「それは、瓦礫のすき間から何が見えたのかということです。つまり、戦後五〇年、我々がどんな国を造ってきたかを問われたのです。私たちは都市化により、一見豊かで便利な生活を送ってきましたが、そこには人間の顔が見えなかった。この震災と救援活動を通して、人間の絆こそが本当の豊かさであることがわかったはずです」

と語るのは、先の大谷氏だ。

また、心理学者として震災時の人間行動を分析した神戸大学発達科学部の城仁士助教授は、こう語る。

「震災から一年半で、仮設住宅での孤独死は八三人にも達しています。被災者の立ち直り方を見ると、親族や友人はもちろん、近隣や趣味の会など、普段からのコミュニケーションが大切なことがよくわかります。やはり日頃からの人間関係が、救援やその後の復興でも、最大の力を発揮するのです」

大地震が、いつ都市を襲うかは予測できない。「阪神・淡路大震災」は、大きな痛手を負わせることで、都市のもろさ、そしてヒューマンネットワークの大切さをあらためて知らしめたのである。

▶一月一七日、銀行や生命保険会社の支店が入居している神戸市兵庫区の六階建てのビルが崩壊した。鉄筋の柱がへし折れて大きく歪み、窓ガラスが割れてブラインドが外に垂れ下がった。

共同通信社

▶助け出された老人が、崩れた自宅のアパート前で泣き崩れる。その後の復興の過程でも、最大の被害者は高齢者たちだったと言えよう。

死者一二人、重軽症者五五〇〇人の無念
今もなお被害者を苦しめるオウム真理教"恐怖の記憶"
都心パニック「地下鉄サリン事件」！

▲平成7年3月20日午前8時すぎ、地下鉄築地駅近くの路上で、応急手当てを受ける被害者。この日の都心は救急車が走りまわり、パニックにおちいった。

わずか〇・五ミリグラムが眼や肺に入っただけで、死にいたる毒ガス兵器「サリン」。平成七年三月二〇日の朝、オウム真理教によって、東京の地下鉄でビニール一一袋に入った六〇〇ミリリットルのサリンがまかれるという、およそ人間のやることとは思えない事件が起きた。あの「地下鉄サリン事件」から四年――無差別大量殺人事件の衝撃は薄れつつあるが、被害者の後遺症も、オウム真理教という集団の不気味さも、いまだに消えていない。

多くの人の人生を変えたビニール袋"傘の一突き"

それは、一本の電話から始まった――。

平成七年三月二〇日の午前九時頃、営団地下鉄霞ケ関駅の助役をつとめる高橋一正さん（五〇）に、妻のシズエさん（四八）は、パート勤務先の銀行から何度も連絡を入れていた。五月に夫婦で行く予定の、北海道旅行のパンフレットを入手してもらうためだった。ところが、話し中でまったくつながらない。

「おかしいと思っていた時、臨時ニュースを見た妹から、『担架で運ばれた営団職員はお兄さんじゃないか』という電話をもらったんです」（シズエさん）

「地下鉄サリン事件」が起きた時、霞ケ関駅の千代田線ホームにいた高橋助役は、オウム真理教の林郁夫（四八＝無期懲役が確定）が午前八時頃に傘の先で穴を開けたサリン入りビニール袋を、車両から運び出した直後に倒れた。

シズエさんは、高橋助役が運ばれた明石町・聖路加国際病院に到着する前から泣き出していたという。

「病院に午前一一時半頃に着いた時、夫の体は点滴の針がついたまま、すでに冷たくなっていました」（シズエさん）

一一袋六〇〇ミリリットルものサリンがまかれたのは、営団地下鉄の千代田線、丸ノ内線、日比谷線。いずれも八時九分から一三分に霞ケ関駅を通る電車で、出勤時間が他省庁より早い警察庁や警視庁の職員をねらった犯行なのは明らかだった。

「目が見えない」「苦しい」――ラッシュアワーの電車内で充満した刺激臭に気分を悪くした乗客は、霞ケ関、築地、八丁堀など一六の駅のホームや出口で、うめき声をあげて倒れこんだ。吐き続けるOL、手足を痙攣させ苦しむサラリーマン。救急車が病院にピストン輸送したが、最終的に一二人が死亡、五五〇〇人が重軽症を負う大惨事となったのである。

六九八人の被害者が運びこまれた聖路加国際病院で治療にあたった、中野幹三、現・九段中野クリニック院長は、

「続々とかつぎこまれる患者が廊下まであふれ、まるで野戦病院のようでした」

と、振り返る。悲劇はしかし、これで終わったわけではなかった。多くの被害者に、「心的外傷後ストレス障害」という後遺症が現れたのである。

「死の恐怖にさらされた時の心の傷がもとで、突然、地下鉄での惨状をありありと思い出したり、不眠、集中力や気力の低下などの精神症状、頭痛やめまい、目の痛み、吐き気などの身体症状に悩み、今も仕事や日常生活に支障をきたしている方が多く来院されます」（中野院長）

現在、「地下鉄サリン事件被害者の会」代表世話人をつとめるシズエさんも、こう語る。

「後遺症で会社を退職したり、症状の深刻さを家族に理解してもらえないなど、今もオウムを憎んだり、ひたすら事件を忘れたいと願っている被害者は多い。この事件は、本当に多くの人の人生を変えてしまったのです」

▲5月16日、上九一色村の教団施設「第6サティアン」で逮捕、護送される松本智津夫。

鎌田圭吾／山梨日日新聞社

▶「第七サティアン」内のシバ神。このレリーフの後ろに、サリン製造プラントが隠されていた。

共同通信社（右上も）

一七ヵ所の拠点を確保 着々と進む教団の復興

◀9月10日、坂本弁護士の長男・龍彦ちゃんの遺体が、6年ぶりに長野県で発見された。合掌する捜査陣。
読売新聞社

「坂本弁護士一家拉致事件」「松本サリン事件」「仮谷さん監禁致死事件」などとの関連が疑われていた教団にとって、「地下鉄サリン事件」は、三月二二日に教団施設の強制捜査を予定していた警察への先制攻撃と言えるものだった。

捜査を目前に控えた三月一八日、教祖の麻原彰晃こと本名・松本智津夫(四〇)の命を受けた村井秀夫(三六=故人)は、林郁夫や林泰男、広瀬健一らに「強制捜査のホコ先をそらす。地下鉄にサリンをまいてもらいたい」と切り出したという(林郁夫著『オウムと私』)。

「麻原があれだけの事件を起こした背景には、社会を大混乱におとしいれて名を残したいという歪んだ野望があったと思います。彼に、普通の犯罪者の心理はあてはまりません」

と語るのは、自身も教団に命をねらわれたジャーナリストの江川紹子氏だ。実際に当時、おそれられたのは第二のテロだった。

「電車でジュースがこぼれただけで防護服姿の隊員が出動したり、飛行機雲を毒ガスと思い一一〇番通報が殺到する。こうしたことの連続で、警察だけでなく、記者の神経も張りつめっぱなしだった」

と、当時NHK警視庁キャップの磯部成夫氏は語る。真夜中に無言電話をかけてくる信者に危険を感じ、家の表札をはずして、子どもの三輪車から名前を消した記者もいたという。

こうした緊張感は、三月三〇日に起きた「國松警察庁長官狙撃事件」でピークに達するが、林郁夫や早川紀代秀(四五)、井上嘉浩(二五)ら教団幹部の逮捕に続く、五月一六日の松本逮捕で、事件は一気に解明に向かった。

◀幹部の村井秀夫が、四月二三日夜、東京の教団総本部前で刺殺された瞬間。
日刊スポーツ

公判が四年目に入った平成一〇年の時点で、一九二人の被告のうち、一審で一六九人に有罪、一人に無罪判決が下され、松本被告を含む二二人が今も東京地裁で公判中だ。

三年前に破産宣告を受け、組織延命に汲々としているかに見える教団だが、経営するパソコンショップなどによる資金をもとに、今では一七ヵ所の拠点(公安調査庁調べ)を確保し、埼玉県都幾川村に不動産を購入。新たな住民トラブルさえ引き起こしている。こうした教団復興の現状について、江川氏はこう分析する。

「ロックバンドの結成やサークル活動による〝明るく楽しいオウム〟を演出し、イメージチェンジをはかっています。そうすることで信者拡大をねらっているわけですが、彼らは今も、事件当時同様、いくつもの顔を持っているのです。法廷では教団を否定し、『家族のもとに戻ります』と語りながら、釈放されたその日に復帰する信者もいます。自分たちの〝真理〟のためなら嘘もつき、何でもやるという本質は変わっていません」

今回の取材でも、活動を活発化する教団の〝報復〟をおそれてか、匿名はおろか本誌との接触すら避ける「地下鉄サリン事件」の被害者が多かったのである。

さらに今後、松本の後継者と目される三女、二女と折り合いの悪い長女、信者から「教祖」と呼ばれている長男や次男との間で、「後継者の座をめぐり、内部分裂を起こす可能性もある」(江川氏)という。

平成一二年には釈放されるナンバーツー・上祐史浩(三五)の帰還もあり、教団は今も不気味な影を投げかけている。

女たちの肖像

〝あっという間〟の連発!「小型発電機」伊達公子の世界ランク第四位と引退

稲葉真弓

「世界のトップに立つことなど、夢のまた夢」と言われてきた日本テニス界に、奇跡的な事件が起きた。この年、平成七年一一月、伊達公子(二五)が、女子テニス協会(WTA)発表の世界ランキング第四位に上昇、日本選手史上最高をマークしたのである。ちなみに一位はグラフ(独)とセレシュ(米)、二位はマルティネス(スペイン)、三位サンチェス(同)だった。

彼女の戦歴に勢いがつき始めたのは平成二年からだった。全豪オープンで日本人として一三年ぶりにベスト一六に進出、翌三年にはバージニアスリムズ・ロサンゼルス大会の準決勝でトップスリーの一人であるサバチーニを破ったかと思うと、四年には世界ランク五位のサンチェスに完勝。同年、敗れはしたが〝女王〟グラフに互角の戦いを展開した。六年にはフェルナンデスとマルティネスを破り、同年七月世界ランキング五位。またたく間の快進撃だった。そしてこの年、彼女は日本テニス界が長年夢見た「世界の頂点」を間近にしたのである。

▶〝世界のキミコ〟のさわやかな笑顔。
「FRIDAY」/松本昌久

「スモールダイナモ(小型発電機)」と呼ばれる彼女が、テニスを始めたのは小学校一年生の時。昭和四五年、京都に生まれた彼女は、地下鉄の駅長をしている父親と母親がかよっていた地元のテニスクラブで、球拾いを遊びとして育った。父親の手作りのラケットを持つようになってプレイに目覚めた少女は、京都の名門「四の宮クラブ」に入会して基礎を積み、テニスの名門高校、神戸の園田学園に入学。三年生の時、インターハイで単、複、団体の三冠を制覇、六三年、卒業と同時にプロになった。

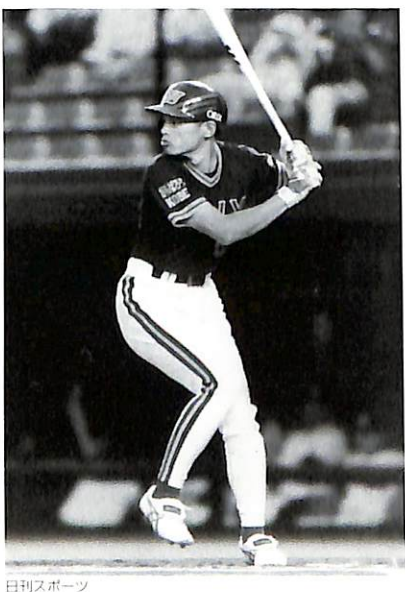
天性の勘のよさ、負けず嫌いの性格、球の上がりっぱなをたたくライジングのうまさ……いずれも彼女の強さの秘訣を語る言葉だが、プロ入りしてわずか数年で〝世界のキミコ〟となった彼女の引き際も、また、あっけないほど早かった。

「テニスが私のすべてではない」「二五歳で結婚して引退したい」と口癖のように言っていた彼女は、世界ランキング四位になった翌八年一一月、ニューヨークでのヒンギス戦を最後に突然引退を表明。多くのテニス関係者も寝耳に水の、彼女みずからが下した電撃的なリタイアだった。

俳優・中井貴一との結婚も噂されたが、この話は自然消滅。今、彼女は、全国各地で子どもたちにテニスを教える教室を開催、指導者としての道を歩き始めている。

勝者・敗者

大震災から二四五日目に「がんばろう KOBE」をブルーウェーブが実現!

阿部珠樹

この年、一月一七日の「阪神・淡路大震災」で、神戸の町は大きな被害を受けた。神戸に本拠をおくオリックス・ブルーウェーブも、一時、練習場が使えなくなるほどの影響をこうむったが、それ以上に、選手たちへの心理的影響は甚大だった。声援してくれた人々の多くが、家や家族や友人を失い、傷ついている。その人たちを、なんとか励ますことはできないだろうか。ブルーウェーブの選手たちは、特別な決意を抱いて、シーズンにのぞんだ。ユニフォームの袖には、「がんばろう KOBE」のワッペンが縫いつけられていた。

◀イチローも〝振り子打法〟でチームを引っぱった。
日刊スポーツ

特別な決意で始まったこのシーズン、先頭に立ってチームを引っぱったのはイチロー(二一)だった。前年、突然登場して、シーズン二〇〇安打の大記録を打ち立てたイチローは、この年も絶好調で、打率ばかりか、一時は打点、ホームランの両部門でも首位に立ち、三冠王もねらえる活躍を見せた。

投手陣では二〇歳の平井正史が一五〇キロを超える快速球とフォークボールでストッパーとして大奮闘する。大柄なニールと小兵のD・Jという外国人選手二人のコンビネーションも、効果的に攻撃陣にメリハリをつけた。

チームを率いて二年目の仰木彬監督の采配もさえた。相手投手に合わせて、目まぐるしく選手を入れ替え、その入れ替えがことごとく成功する「仰木マジック」で、チームを一一年ぶりのリーグ優勝に導いていく。

そしてついに神戸中が喜びに沸く日が訪れた。九月一九日、ライバル・西武の本拠地、西武球場で、仰木監督が大きく宙に舞ったのだ。

イチローのバックスクリーン直撃ホームラン、平井の抑えと、シーズンを集約するような試合ぶりで西武を圧倒し、オリックスはリーグ優勝を決めた。

「未知との遭遇です」

優勝の感想を聞かれたイチローは、表現しきれない複雑な感情をそんな言い方で口にした。

震災から二四五日。ユニフォームに縫いつけた誓いが、みごとに実った日だった。

1月

▲愛犬家失跡事件、解決へ（1月5日）埼玉のペット業者と前妻を逮捕。取引でもめた客など4人を次々殺害、遺体は解体してドラム缶で焼却していた。

◀神戸製鋼、V7（1月15日）東京・国立競技場で行われたラグビー日本選手権で、大東大に102対14で圧勝。写真は、先制トライの平尾誠二。

共同通信社

読売新聞社

▲凍結北陸道で28台玉突き（1月10日）滋賀県の木之本インター付近で、ワゴン車がスリップして横転したため次々追突。3人が死亡、25人が重軽傷。

共同通信社

▶アンデレちゃんに笑顔（1月27日）最高裁が逆転判決。長野県の病院で生まれ、両親が不明だった幼児の、日本国籍請求を認めた。写真は、喜びの養父母の米人牧師夫妻と。

共同通信社

▼ロシア軍、チェチェンの首都制圧（1月19日）ドゥダエフ大統領ら独立派は、南部の山岳地帯に拠点を移しゲリラ戦で抵抗。7月、軍事停戦が合意されたが、戦闘は続いた。

ロイター／サンテレフォト

▶米国産リンゴ、初入荷（1月9日）「規制緩和」が進む中、国内農家の反対を押しての輸入解禁。韓国・ニュージーランド産に続くもので、輸入食品の急増は、残留農薬など安全性論議に火をつけた。写真はスーパー店頭。

朝日新聞社

平成7年1月

1（日）●政党助成法など政治改革関連三法が施行。
●WTO（世界貿易機関）、発足。

2（月）●イスラエル政府、ユダヤ人入植地拡大の場所を変更（ヨルダン川西岸での拡大禁止へ）。

3（火）●山梨学院大、二年連続三度目の箱根駅伝優勝。
●WHO（世界保健機関）、世界のエイズ患者が一〇〇万人突破、と報告。

4（水）●長野県の中央アルプス・宝剣岳の千畳敷カールで雪崩が発生し、巻きこまれた六人が死亡。

5（木）●愛犬家連続失跡事件（平成5年4月～）で埼玉県江南町のペット業者逮捕（殺害を自供）。

6（金）●郵貯の利率、〇・〇五%引き下げと発表。

7（土）●名護市で不明の児童、タンク車内で遺体発見。

8（日）●イラン、ロシアとの原発建設契約に調印。

9（月）●自由化最終段階で米国産リンゴが店頭に。

10（火）●凍結の北陸自動車道で二八台衝突、死者三人。

11（水）●訪米中の村山富市首相、クリントン大統領と会談（日米安保体制維持を確認）。

12（木）●志木市で住民基本台帳のコピー流出が判明。

13（金）●経営破綻した東京協和・安全両信組救済で、日銀などの出資による東京共同銀行、発足。

14（土）●船木和喜、HTB杯ジャンプで国内初勝利。

15（日）●神戸製鋼、七年連続ラグビー日本一に。

16（月）●東京の地価、ニューヨークの七倍と国土庁。

17（火）●阪神・淡路大震災、発生。神戸と洲本で震度六の烈震、六〇〇〇人以上死亡。

18（水）●防衛施設庁、沖縄基地の整理統合本部を設置。

19（木）●ロシア軍、独立掲げるチェチェンの首都制圧。

20（金）●米国政府、北朝鮮への経済制裁一部解除発表。

21（土）●成田空港問題の小川嘉吉代表、闘争終結表明。

22（日）●大相撲初場所で新横綱の貴乃花、三連覇。

23（月）●小澤征爾、三二年ぶりにN響を指揮。

24（火）●ニューミュージック歌手の長渕剛、大麻所持容疑で逮捕（2月3日、処分保留で釈放）。

25（水）●ロシア空軍、ノルウェーの科学実験ロケットをミサイルと誤認し、警戒態勢。

26（木）●PLO（パレスチナ解放機構）とヨルダンが協力協定に調印。

27（金）●最高裁、無国籍児訴訟で男児に日本国籍承認。

28（土）●米国とベトナム、首都に連絡事務所開設。

29（日）●震災便乗値上げ監視の一一〇番設置が決定。

30（月）●文藝春秋、ホロコースト否定記事を掲載した月刊誌「マルコポーロ」の廃刊を決定。

31（火）●天皇・皇后、兵庫県下の地震被災地を訪問。

ニュース・ファイル 1995

フォト＋日録で再現する365日

一月一七日早朝、兵庫県南部を襲った「阪神・淡路大震災」は、文字どおり日本を揺るがした。三月二〇日、東京では無差別殺人をねらったオウム真理教による地下鉄サリン事件が勃発、そして、九月の沖縄少女暴行事件は、「戦後五〇年」の日米安保体制見直しを迫った。

◀天皇・皇后、「慰霊の旅」へ（7月26日）戦後50年にあたり、戦争犠牲者を追悼し平和を祈るため、翌月3日まで長崎、広島、沖縄、東京の慰霊施設を歴訪。写真は27日、広島の平和記念公園・原爆慰霊碑でのお二人。

共同通信社

▲ダイアナ妃、神戸慰問を断念(2月8日)英国赤十字社副総裁として6日来日したが、希望の震災地訪問は地元の現状を考慮して断念。写真は、日本赤十字社で。

共同通信社

▲欧州北西部で大洪水(2月)長雨のため、今世紀最大の被害。オランダでは約25万人が避難。写真は6日、ワール川付近の水没したハイウェーを行くウインドサーファー。

ロイター/サンテレフォト

▶小泉今日子(29)、結婚会見(2月22日)式や披露宴は行わず、夫・永瀬正敏が撮った小泉の写真展がお披露目。2年前の雑誌の対談以来の交際だった。

共同通信社

◀荻原健司(25)、史上初の総合3連覇(2月19日)オーストリアで行われたノルディックスキー複合W杯個人戦で、距離15キロを制して優勝。通算勝利16も新記録だった。

AP/WWP

▶西島洋介山、クルーザー級初代王座に(2月19日)ロサンゼルスで開かれた北米ボクシング機構のチャンピオン戦で、カイザー(米)を破り、ヘビー級の下、86キロ以下を制した。

報知新聞社

▲海自飛行艇、転覆(2月21日)高知県沖の豊後水道で、岩国基地所属の「US1A」機が着水に失敗。11人死亡、生存者は一人。高性能を誇る国産機の事故の衝撃は大きかった。

読売新聞社

平成7年2月

1(水)●学術審、北大附属病院の遺伝子治療を初承認。
2(木)●連続幼女誘拐殺人事件で殺人罪に問われた宮崎勤被告の公判が約二年ぶりに再開。
3(金)●山田重雄・元バレーボール協会常務理事、外為法違反で書類送検。
4(土)●愛知県警、送金システムを悪用し一億四〇〇〇万円引き出した東海銀行元行員ら三人逮捕。
5(日)●伊達公子、テニスの東レ・パンパシフィックで日本人として初優勝。
6(月)●北炭(北海道炭礦汽船)、負債総額八八二億円で会社更生法の申請受理されて倒産。
7(火)●大リーグの労使紛争で米大統領が調停活動。
8(水)●前年の国際経常黒字が四年ぶり減少と大蔵省。
9(木)●松戸市の女子短大生銃撃事件で指名手配中の容疑者が、鹿児島県で排ガス自殺。
10(金)●証取監査委、清水銀行・丸紅建設機械販売らをインサイダー取引疑惑で刑事告発。
11(土)●長野県安曇村の道路工事現場で高温水蒸気が噴出し、作業中の四人が生き埋めとなり死亡。
12(日)●PLOとイスラエル、交渉再開に合意。
13(月)●近鉄を退団した野茂英雄、ドジャースと契約。
●経営破綻の東京協和・安全両信組、解散決定。
14(火)●警視庁、二所ノ関親方を賭博現行犯で逮捕。
15(水)●最高裁、山形マット死事件(平成5年1月)で三少年の保護処分取り消しの再抗告を棄却。
16(木)●ダイエー、九州・首都圏など一〇店舗閉鎖へ。
17(金)●高校中退者、昭和五七年以来初の一〇万人割れと文部省発表。
18(土)●京都市、景観保護で懲役刑導入の条例制定へ。
19(日)●荻原健司、スキー複合W杯で史上初の三連覇。
20(月)●住友金属工業の女性社員、男女雇用機会均等法に基づく初の調停案を拒否。
21(火)●海上自衛隊救難飛行艇、高知県沖で着水に失敗し転覆。乗員一一人死亡、生存は一人。
22(水)●最高裁、ロッキード裁判丸紅ルートで上告棄却し、故・田中角栄元首相の収賄が確定。
23(木)●再処理放射性廃棄物を積んだ英国船「パシフィック・ピンテール」、フランスを出発。
24(金)●閣議、特殊法人一四を七つに統合と決定。
25(土)●北朝鮮のナンバーツー、呉振宇が病死。
26(日)●米国・中国、知的財産権保護で合意。
27(月)●ソマリア駐留のPKO部隊、撤退開始。
28(火)●東京・品川で目黒公証役場の仮谷清志事務長を男数人が車で拉致(6月、遺体焼却が判明)。

▲西淀川公害訴訟、17年ぶり和解(3月2日)大気汚染に苦しむ519人に対し、関西電力など阪神工業地帯の10社が約40億円の支払いを約束。

朝日新聞社

証言・あの日この日
香山リカ(34)

共同通信社

4月18日(火) 〈今回のオウム真理教の一連の捜索でも、親の出家に伴って来た子どもたちのことがずいぶん話題になった。ワイドショーなどで見るかぎり、当初は、子どもたちはカメラに向かってピースサインをしたりはしゃいで走り回ったり、町にいる子たちとそう変わりなく見えた〉(香山リカ「自分なりの選択」)

この頃、香山リカは、精神科医という立場から、出家したオウムの子どもたちに関心を持ち、じっと観察していた。その姿は、一見、幸せそうに見える。だが、実は、親に押しつけられた、ひとつの宗教的価値観に洗脳されているにすぎない。そこで香山は、学校の役割の重要さを再評価する。学校こそ、ひとつの価値観に縛られることなく、多様な価値観や考え方を知り、その中から〈自分なりの選択〉を訓練する場所なのだ、と。(山崎行太郎)

時事通信社

共同通信社

▲▶2信組事件、大蔵スキャンダルへ(3月)乱脈融資で解散した東京協和・安全両信組問題が、官僚の腐敗を露呈。写真右は9日、国会証人喚問の東京協和・高橋治則元理事長。左は高橋から"過剰接待"の東京税関長・田谷広明。

▼英・名門銀行を倒した男、逮捕(3月2日)シンガポール国際通貨取引所でデリバティブ取引などに失敗。所属する創業233年の商業銀行・ベアリングス社に、10億ドルの損失を与えた。

AP/WWP

AP/WWP

▲アンネ・フランク五十年忌(3月)ユダヤ人強制収容所で死亡後50年目のこの月、『アンネの日記』最新版が発行され、隠れ住んでいたアムステルダムの「アンネの家」には観光客の長蛇の列。

平成7年3月

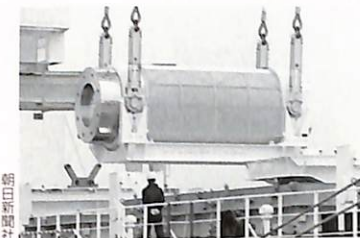
1(水)●自治省、住民基本台帳番号制導入方針を表明。
2(木)●大阪の西淀川公害訴訟で企業側が解決金。
3(金)●NTTのベア、過去最低の二・八%で妥結。
4(土)●公明党、石原信雄前内閣官房副長官の東京都知事候補推薦を決定(7日、立候補を表明)。
5(日)●中国の李鵬首相、経済政策などで自己批判。
6(月)●公取委、日本下水道事業団発注工事の入札談合事件で大手電機メーカーなど九社を告発。
7(火)●富山地裁、闇米販売業者に罰金判決。
8(水)●東京都、東京港沖の新ゴミ処分場建設問題で補償金などについて千葉県漁連と合意、調印。
9(木)●大阪高裁、即位の礼と大嘗祭への国費支出差し止め求めた訴訟で違憲の疑い否定できずと。
10(金)●米国の失業率、五・四%に低下と米労働省。
11(土)●宮部行範、スピードスケートW杯一〇〇〇メートルで日本男子初の種目別総合優勝。
12(日)●年寄りの一人暮らし、最高の二二〇万人と。
13(月)●東京協和信組元理事長の自家用機で旅行した田谷広明東京税関長、更迭。
14(火)●「輸銀」と海外協力基金の四年後の統合決定。
15(水)●スキー世界選手権の複合団体で日本が四連勝。
16(木)●製薬七社、遺伝子治療薬の開発研究所を設立。
17(金)●シンガポールで幼児殺害容疑のフィリピン人家政婦の死刑執行を発表(両国関係が悪化)。
18(土)●純国産大型ロケット「H2」、打ち上げ成功。
19(日)●東京都現代美術館、開館。
20(月)●東京都内の営団地下鉄内で、同時多発的なサリン殺人事件。一二人死亡、五五〇〇人被害。
21(火)●WTO初代事務局長にルッジェーロ元イタリア貿易相の就任が内定。
22(水)●警視庁、山梨県上九一色村などオウム真理教施設を一斉捜索(サリン原料を発見)。
23(木)●NEC、初の半導体インドネシア工場建設へ。
24(金)●無人深海探査機「かいこう」、マリアナ海溝の世界最深部一万九一一メートルに到達。
25(土)●フィリピン、南沙諸島で中国漁船拿捕と発表。
26(日)●大相撲春場所で横綱曙、一年ぶりの優勝。
27(月)●トム・ハンクス、二年連続オスカー受賞。
28(火)●三菱・東京両銀行、翌年の対等合併合意発表。
29(水)●三年前から中断の日朝正常化交渉再開に合意。
30(木)●國松孝次警察庁長官、東京・荒川の自宅マンション前で男に撃たれて重傷。
31(金)●堀江鉄弥日本長期信用銀行(長銀)頭取、二信組の乱脈経営問題で引責辞任。

▶金大中「悪夢」の現場へ(4月16日)「拉致事件」の舞台となった東京・飯田橋のグランドパレスと元事務所を、22年ぶり再訪。左は夫人。右は元秘書。

共同通信社

▼横浜で異臭騒ぎ(4月19日)駅構内などで発生。毒ガスのホスゲンとされ、サリン事件の恐怖が蘇ったが、7月になって犯人逮捕。防犯スプレーだった。

読売新聞社

朝日新聞社

▲「核のゴミ」陸揚げ(4月26日)仏核燃料公社からの返還分が、青森県知事の拒否にあい、むつ小川原港沖で立ち往生。最終処分地にしない条件で、六ケ所村での一時貯蔵が決定。

AP/WWP

▲米国・オクラホマ州の連邦政府ビルで、爆破テロ(4月19日)停車中の車が突然爆発、託児所の乳幼児を含む200人が死亡、400人が重軽傷。極右過激派3人が逮捕された。

ロイター/サンテレフォト

▶ルワンダで難民キャンプ銃撃(4月22日)ツチ族主体の政府軍が、フツ族5000人を虐殺。前年、部族融和政権が成立、内戦は終結したと見られたが、依然情勢は不安定だった。

◀新潟北部に直下型地震(4月1日)マグニチュード6.0。負傷61人のほとんどは落下物が原因。阪神・淡路大震災の教訓は生かされず。写真は、崩れた県指定文化財・市島家。

読売新聞社

平成7年4月

1(土)●新潟県でM六・〇の直下型地震、六一人負傷。
2(日)●前年八月から中断の大リーグ、開幕が決定。
3(月)●第二一回最優秀棋士賞に羽生善治名人。
4(火)●名古屋家裁、前年の西尾市中二男子「いじめ」自殺事件でかかわった生徒三人を少年院送致。
5(水)●選抜野球、香川・観音寺中央高校が初陣初優勝。
6(木)●郵政省、NTTのあり方を電気通信審に諮問。
7(金)●チリとキューバ、二二年ぶりの国交回復合意。
8(土)●オウム真理教幹部、林郁夫ら信徒監禁で逮捕。
9(日)●第一三回統一地方選挙(東京・大阪両知事選で無党派の青島幸男、横山ノックが当選)。
10(月)●松下電器、米国娯楽会社・MCAの株式売却。
11(火)●国連安保理、非核国の安全保障決議。
12(水)●アフガニスタンでロシア人保護を目的としロシア軍が爆撃、五人死亡(13日、再爆撃)。
13(木)●最高裁、個人鑑賞用ポルノ輸入も刑罰の対象と、東京高裁の関税法無罪判決を破棄。
14(金)●日銀、公定歩合を〇・七五%引き下げ、史上最低の一%に(9月8日、さらに〇・五%下げ)。
●柳家小さん、落語界初の人間国宝に。
15(土)●海老名市の建設作業員宿舎の八人焼死事件(前年7月)で、無職の少年が放火と供述。
16(日)●バリ島で開催のアジア太平洋経済協力会議(APEC)、為替安定強調の共同声明。
17(月)●日中ペアの朱鷺が産卵(30日、雄のミドリ死亡)。
18(火)●閣議、最高刑が無期懲役のサリン法を決定。
19(水)●東京外国為替市場で一ドル=七九円七五銭記録。
●JR横浜駅構内や京浜東北線で異臭騒ぎ。
●米国・オクラホマで連邦政府ビル爆破。
20(木)●キュリー夫人、仏の偉人が眠るパンテオンへ。
21(金)●国民栄養調査で二〇歳代男性の飲酒離れ進む。
22(土)●日本癩学会、「癩予防法」の廃止決議。
23(日)●東京・青山のオウム真理教東京総本部前で、村井秀夫が男に腹を刺される(翌日死亡)。
24(月)●郵政省、テレビの一県四チャンネル見直しへ。
25(火)●仏から返還の放射性廃棄物積載の輸送船、青森県むつ小川原港沖に到着(翌日、入港)。
26(水)●ウクライナ当局、事故九周年で四〇〇万人にチェルノブイリの後遺症、と発表。
27(木)●中国共産党、陳希同・北京市党書記を更迭。
28(金)●韓国・大邱市の地下鉄工事現場でガス爆発。
29(土)●前年度の老人保健負担、初の八兆円台に。
30(日)●ホー・チミン市でベトナム戦争終結二〇周年行事。

中日新聞社

▲長良川河口堰、本格運用へ(5月22日)環境保護か治水・利水かの、27年間にわたる論議を打ち切るように、野坂建設相がゴーサイン。生態系への影響は必至。

ロイター/サンテレフォト

▲アメリカ杯、ニュージーランドが優勝(5月13日)米・サンディエゴ沖で行われた144年の歴史を誇るヨットレースで、米国から史上2度目の王座奪取。日本は準決勝敗退。

共同通信社

▶日本産朱鷺、絶滅が確定(5月11日)中国産の雛と交尾(写真)。しかし雄が死亡、卵は孵化せず、日本産朱鷺は繁殖能力のない雌1羽のみとなった。

▼日本隊、未踏ルートでエベレスト征服(5月11日)日大チームが北東稜に挑戦。ピナクル(岩峰)群を踏破、古野淳登攀隊長(34、写真右)らが登頂に成功。

共同通信社

AP/WWP

▲エボラ出血熱が流行(5月)中部アフリカ、ザイールの町・キクウィトで100人を超す死者。血液や体液によって感染するウイルス性伝染病で、軍が町を隔離し、6月にWHOが終息宣言した。

共同通信社

▶横綱貴乃花(22)、結婚(5月29日)花嫁は元フリーアナウンサーの河野景子さん(30)。東京・明治神宮で式をあげ、ホテル・ニューオータニで披露宴を開催。この年、貴乃花は4場所を制した。

平成7年5月

1(月)●第六六回メーデーに首相が史上初の出席。
2(火)●ドジャースの野茂英雄投手、初先発(シーズン一三勝六敗でナリーグ新人王に)。
3(水)●オウム真理教顧問弁護士・青山吉伸を、山梨県の教団施設関連の名誉毀損容疑で逮捕。
4(木)●経済協力開発機構(OECD)、途上国援助(ODA)の対象国基準を強化。
5(金)●東京・西新宿の地下街で青酸ガス装置発見。
6(土)●ロンドンで欧州戦線終結五〇周年の記念式典。
7(日)●フランス大統領選でジャック・シラクが当選(保守・中道の大統領は一四年ぶり)。
8(月)●クリントン米大統領、対イラン制裁令に署名。
9(火)●社会党の山花貞夫前委員長、新党結成ができず離党表明(新党準備会の六人も離党)。
10(水)●二信組事件で「イ・アイ・イ」など強制捜査。
11(木)●核不拡散条約(NPT)、無期限延長を採択。
12(金)●窃盗罪で起訴された男が、大阪・奈良の女性四人のバラバラ殺人などを自供。
13(土)●伊豆大島で高一生四人、上級生に堤防からの飛びこみを指示され水死(一人は行方不明)。
14(日)●林郁夫容疑者、地下鉄サリンの犯行を認める。
15(月)●権限と財政を移す地方分権推進法が成立。
16(火)●地下鉄サリン事件の中心人物として麻原彰晃(松本智津夫)代表を殺人容疑などで逮捕。
17(水)●政府、前日の日米自動車協議での制裁リスト(一〇〇%関税)をWTOに提訴。
18(木)●気象予報士資格で天気予報が自由化に。
19(金)●米国で琥珀から数千万年前の微生物復活に成功と「サイエンス」誌に。
20(土)●土木学会、大地震想定の耐震基準設定を提言。
21(日)●WHO、中部アフリカでエボラ出血熱が流行し、一〇一人死亡と発表(6月1日、終息宣言)。
22(月)●七人死亡の松本サリン事件(前年6月27日)もオウム真理教の犯行、と判明。
23(火)●三重県長島町の長良川河口堰が運用を開始。
24(水)●川島郭志、WBC世界J・バンタム級タイトルマッチで三度目の防衛。
25(木)●長崎の雲仙普賢岳に活動停止宣言。
26(金)●北朝鮮、渡辺美智雄元外相らに米支援要請。
27(土)●ロシア参加で「新ココム」発足の見通しと。
28(日)●ロシア・サハリン州北部でM七・五の大地震。
29(月)●横綱貴乃花、河野景子さんと挙式。
30(火)●東京六大学野球で法大が二季連続優勝。
31(水)●青島東京都知事、世界都市博中止を正式決定。

共同通信社

▲北朝鮮、コメ支援要請（6月22日）天候不順と洪水被害のため、面子を捨てた。写真は、韓国で始まった第1次分15万トンの船積み。日本も支援を約束。

読売新聞社

◀お中元には防災ギフト（6月）阪神・淡路大震災の記憶さめやらず、お中元セールに保存用飲料水、缶詰類などが勢ぞろい。東京・日本橋のデパートで。

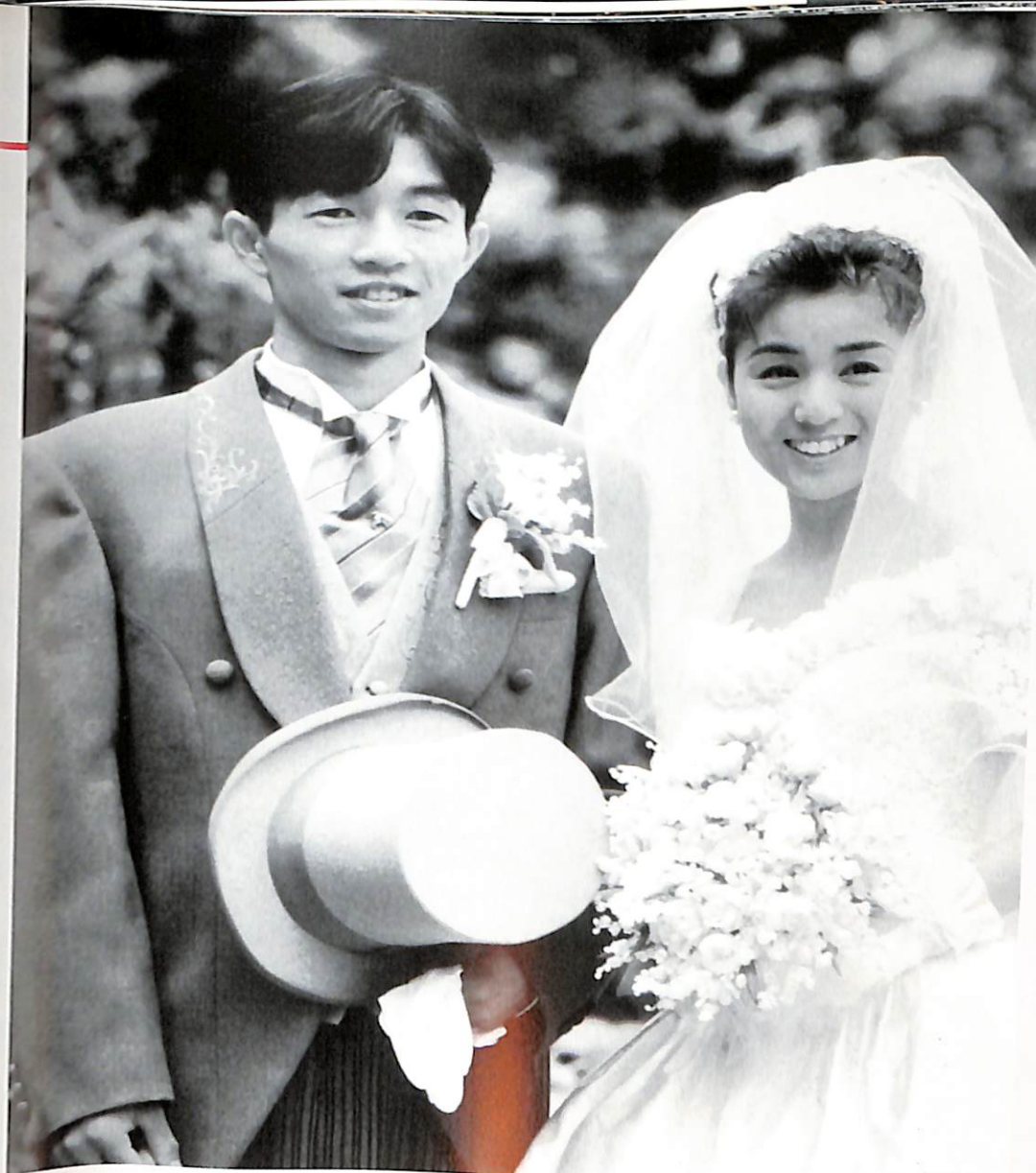
小林忠春／朝日新聞社

◀武豊(26)・佐野量子(26)、結婚（6月5日）昭和62年デビュー以来、数々の記録を塗り替え、前年、史上最短で900勝を達成した天才騎手が、7年越しの恋を成就。

▶國松孝次警察庁長官、復帰（6月15日）東京・荒川で出勤途中に撃たれ重傷を負って以来、2ヵ月半ぶり。オウム真理教による犯行の可能性が強いと言われた。

毎日新聞社

ロイター／サンテレフォト

◀中国を怒らせた台湾総統訪米（6月9日）写真は母校・コーネル大で講演、聴衆の歓呼にこたえる李登輝総統夫妻。中国は17日、大使を召還、米中関係が悪化。

◀「エノラ・ゲイ」初の一般公開（6月28日）ワシントンのスミソニアン航空宇宙博物館が、中止になった原爆展の代わりに、広島に原爆を投下したB29爆撃機を展示。展示に反対するグループのメンバーが、館内で騒いで逮捕。

共同通信社

平成7年6月

1（木）●米価審、生産者麦価の四年連続据え置き答申。

2（金）●国際捕鯨委、南極海での調査捕鯨中止を決議。

3（土）●ボスニア紛争で、英・仏・オランダによる多国籍の緊急対応部隊（RRF）創設が決定。

4（日）●前年出生数約一二四万人で二一年ぶり大幅増。

5（月）●介護休業法（平成11年4月施行）、成立。

6（火）●神奈川県城ケ島沖に海自ヘリコプターが墜落。

7（水）●台湾の李登輝総統が訪米（米中関係が悪化）。

8（木）●大手私鉄・営団地下鉄の運賃値上げが認可。

9（金）●一〇年有効パスポートの一一月施行が決定。

10（土）●米国・北朝鮮、軽水炉提供問題で暫定合意。

11（日）●松本サリン事件の第一通報者に、長野県警捜査本部が謝罪（「朝日新聞」など報道各社も）。

12（月）●衆院、戦後五〇年決議をめぐり、新進党提出の内閣不信任案、否決。

13（火）●シラク仏大統領、南太平洋で九月から核実験再開を発表（9月5日に第一回、年内に五回）。

14（水）●チェチェンの武装集団、ロシア軍の撤退を要求し、ロシア南部へ越境攻撃、病院を占拠。

15（木）●クリントン米大統領、村山首相との会談で自動車・部品問題での制裁発動を表明。

16（金）●大阪南部の池上曽根遺跡から弥生中期の日本最古と見られる高床式建物跡を発掘。

17（土）●衆院予算委、二信組の乱脈融資で山口敏夫元労相と中西啓介元防衛庁長官を証人喚問。

18（日）●第六三回ルマン二四時間レースでマクラーレンの関谷正徳チーム、日本人初の総合優勝。

19（月）●米国、貨物航空で対日制裁案発表。

20（火）●GDP（国内総生産）〇・六％成長と、経企庁。

21（水）●羽田発函館行き全日空ジャンボ機がハイジャックされ、休職中の銀行員を一六時間後逮捕。

22（木）●欧州連合（EU）、酒税格差で日本を提訴へ。

23（金）●平成元年一一月から行方不明の弁護士・坂本堤さん一家の殺害を、オウム幹部が自供。

24（土）●食糧不足の北朝鮮に米三〇万トンの支援提案。

25（日）●九政党への交付金額決定（自民一一三億円）。

26（月）●スーパーのジャスコ、化粧品値下げを発表。

27（火）●東京地検、東京協和信組の高橋治則元理事長ら四人を背任容疑で逮捕。

28（水）●日米自動車交渉、数値目標の扱い併記で決着。

29（木）●二連続完封、六連勝で野茂フィーバー。
●韓国・ソウル中心街の三豊百貨店が手抜き工事だったため崩壊、五〇二人死亡。

30（金）●福岡高裁、殺人事件にDNA鑑定否定の判決。

「現場」を歩く

敦賀

「もんじゅ」への〝不安と不信〟で三万人が運転再開反対！

山本徹美

▲福井県敦賀市の「もんじゅ」建設所全景。事故を起こした高速増殖炉は、使用するナトリウムの制御がむずかしく、経済性の問題もあり、当初から疑問視されていた。 大橋俊夫

平成七年一二月八日、福井県敦賀市にある高速増殖原型炉「もんじゅ」で、ナトリウム漏洩事故が発生した。

「もんじゅ」はプルトニウムを燃料とし、核分裂で生じた熱を電力に転換しながらも、燃焼するのに要した燃料よりも多いプルトニウムを「増殖」できる。エネルギー資源の枯渇が危惧される二一世紀に向かって、プルトニウムは四〇〇〇年以上供給可能で、化石燃料と異なり炭酸ガスを排出しないため、地球温暖化防止にも効果的とされる。反面、プルトニウムは毒性が強く、原爆への転換が容易で、高レベル放射性廃棄物を出す。

動燃（動力炉・核燃料開発事業団）は昭和六〇年、「もんじゅ」を建設。平成七年八月、初発電。その後、電気出力を上げる段階で、冷却材に使っていたナトリウムが配管ダクトの温度計溶接部からもれた。管内のナトリウムは五〇〇度前後だが、空気に触れると激しく燃える。

ナトリウムもれ事故が発生した場合、動燃は即刻、原子炉の運転を停止し、自治体に報告しなくてはならない。ところが、それらの対応は一時間以上も遅れた。さらに、もれたナトリウムの量が実際には約七〇〇キロあったのに、「ごく微量」と過少に虚偽の報告。事故直後の現場を撮影したビデオがありながらも、その存在を否定、ひた隠し、改竄するなど〝隠蔽工作〟が発覚。翌月には自殺者を出す事件に発展した。

運転再開か廃炉か

平成一〇年一〇月一日、動燃は「核燃料サイクル開発機構」として新たに発足した。その一週間後、「もんじゅ」建設所を訪ねてみた。事故以降、原子炉の運転は停止中だ。中西征二技術主幹の解説。

「調査の結果、温度計のサヤ部分に渦が生じ、流力振動を誘発、それが金属疲労となり、サヤを折って、事故につながった。その時点では未知の現象で、対策が不十分でしたが、現在は万全の状態です」

原発関係者は「危険はない」と力説するが、一般市民にしてみれば不安と不信は隠せない。「原子力行政を問い直す宗教者の会」世話人で、『原発銀座・若狭から』などの著書もある中嶌哲演氏（五六＝小浜市明通寺住職）が指摘する。

「『もんじゅ』運転再開反対運動では福井県民約三三万人の署名を集めました。奇しくも一二月八日はお釈迦様が悟りを開いた成道会。事故は文殊菩薩の警告ととらえ、永久停止すべきです」

敦賀市原子力安全対策課の見解。

「『もんじゅ』に関して市議会は、運転の是非を議論する段階ではない、との意見で一致しています」

放射能汚染の恐怖は誰しもよく知るところだが、新エネルギー開発のめどは立たず、電力需要に歯止めをかける手だても見当たらない。文殊の知恵はそう簡単に授かりそうにない。この日、若狭湾は丹後半島や越前岬が望める好天で、「火種」を感じさせないほど煌めいていた。

共同通信社

◀もれた液体ナトリウムが、空気中の水分と反応してできた大量の化合物が、換気配管（上）や床、壁に付着している。写真は、事故の四日後の撮影。

ベストセラー
「あなたはだれ」から始まる『ソフィーの世界』大反響！

この年注目されたのは『ソフィーの世界』で、哲学をテーマにした硬い内容の翻訳本だったにもかかわらず、ベストセラーに名をつらねた。

一四歳の少女・ソフィーのもとに「あなたはだれ？」と問いかける手紙が届くところから、この物語は始まる。ソクラテスやプラトンをはじめ、デカルト、カント、ヘーゲル、マルクスなどの哲学について、手紙による講義が続き、ソフィーは、自分の日常生活やものの見方、考え方などについて、あらためて考えるようになっていく。本文だけで六五五ページにおよぶ大部の"哲学書"だけに読み通すだけでもむずかしい本だったが、哲学への関心を高めるベストセラーだった。

また、先端科学の成果をフィクションの世界で展開した瀬名秀明の『パラサイト・イヴ』は、新しいタイプのホラー小説として話題になった。美しい新妻を交通事故で亡くした医学部の助手が、脳死状態の妻の体から肝臓の一部を摘出し、そこから生きた細胞を増殖させ、亡き妻を蘇らせようとする物語。最新の分子生物学や遺伝科学の知識を縦横に駆使して練りあげられた、おそるべきフィクションであった。

一方、人気マンガを推理長編小説仕立てにした『金田一少年の事件簿』もよく売れた。マンガを原作としたたんなるノベライゼーションではなく、マンガを踏まえ、かつ、トリックも含めて、あくまでもオリジナルの長編推理小説だった。しかもストーリーは、名作「オペラ座の怪人」の芝居と並行して起こる連続殺人事件と、本格的に展開する マンガの読者も十分満足できるだけのものを持つ内容だった

●平成7年のベストセラー

順位	書名（著者／出版社）
1位	「遺書」（松本人志　朝日新聞社）
2位	「松本」（松本人志　朝日新聞社）
3位	「ソフィーの世界」（ヨースタイン・ゴルデル／日本放送出版協会）
4位	「フォレスト・ガンプ」（ウィンストン・グルーム／講談社）
5位	「幸福の科学興国論」（大川隆法　幸福の科学出版）
6位	「大往生」（永六輔／岩波書店）
7位	「パラサイト・イヴ」（瀬名秀明／角川書店）
8位	「ダービースタリオンⅢ　公式パーフェクトガイド」（月刊ファミコン通信編　アスペクト）
9位	「新・太陽の法」（大川隆法　幸福の科学出版）
10位	「ダービースタリオンⅢ　全書」（成沢大輔／アスペクト）

全国出版協会出版科学研究所

▲「ソフィーの世界」（2427円）

▲「パラサイト・イヴ」（1359円）

▲「金田一少年の事件簿」（757円）

スターと名場面
高齢者にスポットをあてた新藤兼人「午後の遺言状」

不安な時代を象徴するかのような映画が、この年ヒットした。地球環境の激変とかかわりのある怪獣・ギャオスが日本に襲いかかる「ガメラ　大怪獣空中決戦」もそのひとつ。完璧な生命体・ギャオスは、人間を食べて成長する危険な怪獣。これに闘いを挑んだのが、人類の守護神とも言うべきガメラだ。日本に向かうプルトニウム輸送船に異常が起きるところから始まるストーリーには、現代社会への率直な批判がこめられていた。

また「トイレの花子さん」は、子どもたちの間に広がる怪談幻想をテーマとしながら、仲間はずれや友情、信頼といった関係を通して、大きく揺れ動く思春期の心情を、みごとに映像化してみせた。

これと対照的に高齢者のしたたかさや悲哀を浮かび上がらせた、新藤兼人監督の「午後の遺言状」も、この年公開された。老いた女優がすごす別荘地での出来事を描いたもので、ベテラン女優たちの、地でゆく演技が楽しい映画でもあった。

この年、ほかに次のような作品が公開された。かっこ内はおもな出演者。「マディソン郡の橋」（クリント・イーストウッド、メリル・ストリープ）／「フォレスト・ガンプ／一期一会」（トム・ハンクス）

近代映画協会提供

▲「午後の遺言状」が最後の映画出演となった乙羽信子（左端）と杉村春子（右端）。

©大映・日本テレビ・博報堂　一九九四

▲「ガメラ 大怪獣空中決戦」での、ギャオス（左）とガメラ（右）の決闘シーン。

▶「トイレの花子さん」では、河野由佳（手前）や前田愛（右端）ら、子役の好演が目立った。

松竹提供

モノ語り'95
女性の心をつかんで大評判！「ディオールスヴェルト」「クイックルワイパー」「アパガードM」

◀**やせるボディケア商品に圧倒的人気**　ヨーロッパで評判のボディ用ジェル「ディオール スヴェルト」が、この年ついに日本に上陸。パルファン・クリスチャン・ディオールから発売され、半年間で100万個を売り上げるヒット商品となった。肌を引き締め、スレンダーなラインを実現させるというので大評判。200ミリリットル入り、6000円だった。

▲**デジタルカメラが実用的になった**　この年3月にカシオ計算機から発売されたデジタルカメラ「QV－10」は、半導体メモリーに静止画像を記録し、パソコンでその画像を加工・保存できるという斬新さで人気を呼んだ。大きさも携帯に便利なコンパクトサイズで、価格は税別で6万5000円。

▼**コマーシャルで爆発的人気**　この年、サンギが発売した、"歯を白くする"歯磨き「アパガードM」が注目を集めた。平成5年から通販で発売していたが、この年「芸能人は歯が命」をキャッチコピーにしたテレビCM（38ページ参照）で、スーパーやコンビニエンスストアでの販売も開始、年間1300万本（1本40グラム換算）を売り上げた。価格は120グラム入り2800円、40グラム入り980円だった。

▲**「一人に1台携帯電話」時代の幕開け**　この年、携帯電話の新規加入料、基本使用料などが大幅に値下げされ、契約者数が一気にふえた。NTT移動通信網では新規加入料を6000円まで下げ、12月には従来の「デジタル・ムーバ」に各種新機能を搭載した新シリーズを発売した。写真は「デジタル・ムーバ101　HYPER」シリーズで、左から「D101」（8万3000円）、「F101」（8万円）、「N101」（6万9000円）、「P101」（8万円）。

◀**フローリング用の掃除用具がヒット**　フローリングの部屋に合わせて開発された掃除用具「クイックルワイパー」が、前年の10月花王から発売され、この年、年間売り上げ120億円という大ヒット商品となった。簡単な組み立て式で、床の上を片手で滑らせるだけでホコリや髪の毛をキャッチするという手軽さが、主婦層に受けた。価格は本体が2000円（シート5枚つき）、取り替えシートは10枚入りが350円、20枚入りが500円だった。

▼**手軽な宝籤に人気集中**　この年4月、新しい宝籤「ナンバーズ」が、第一勧業銀行から全国発売された。3桁か4桁の数字を任意に選んで申し込み、週2回の抽選日に当選が決まるという単純な籤で、当選金額は発売額と当選者数で変動する。当選金はさほど高くないものの、当選確率が高いという利点が人気を呼んだ。価格は1口200円。

▼**本格的カラオケが家庭でOK**　この年、タイトーから発売された家庭用通信カラオケ「X－55」は、送出元と一般家庭を電話回線でつなぎ、歌いたい曲をテレビに呼び出すという装置。新曲を含めて1万曲以上の歌が楽しめる、本格的なカラオケだった。本体価格は税別で6万4800円。発売後2ヵ月で4万台を売るヒット商品となった。

人物クローズアップ

野茂英雄（二六）

全米が注目した鮮烈デビュー 大リーグにトルネード旋風！

サンフランシスコのキャンドルスティック・パークは、アメリカ大リーグ、サンフランシスコ・ジャイアンツの本拠地である。平成七年五月二日（日本時間三日）の夜、市の郊外にあるこの球場は異様な雰囲気に包まれていた。

前年の八月一一日から続いていたストライキがようやく終わり、アメリカ大リーグは四月二五日に開幕した。すでにナショナルリーグの名門、ロサンゼルス・ドジャースへ入団し、キャンプから順調な仕上がりを見せていた野茂英雄（二六）は、この日の対サンフランシスコ・ジャイアンツ戦に先発デビューすることが決まっていた。その野茂の右腕を、日本はもとより全米中が注目していたのである。

試合は初回、ツーアウトからたてつづけに三つの四球を出し、満塁のピンチに立つというドラマチックな展開で始まった。六人目の打者を三振に取り、ピンチを切り抜けた野茂の投球は、以降、本来のリズムを取り戻し、予定の五回まで投げ、被安打一、奪三振七、無失点というみごとなピッチング。この試合は結局、一四回までゼロ行進が続き、一五回にジャイアンツのサヨナラ勝ちで終わったが、話題は野茂に集中した。翌日の「ニューヨーク・タイムズ」は、一面で野茂のデビュー戦を取り上げ、「野茂英雄は米国の野球界に対する、日本の最高の贈り物だ」と報じた。

こうして野茂は、アメリカ球界に鮮烈なデビューをはたし、大リーグに対するコンプレックスを打ち砕いて、日本球界から大リーグに向かうための大きな壁を、乗り越えることに成功したのである。

野茂英雄は、昭和四三年八月三一日、大阪市港区生まれ。野球を始めたのは五年生の時で、地元の少年野球チーム、池島ファイアーズに入ったのがきっかけだった。五九年、成城工業高校に入学。投手として野茂の名が知られるようになったのは、二年生の時、夏の大阪府大会で完全試合を達成してからである。後に「トルネード（竜巻）」と呼ばれる独特のフォームと、威力のあるストレートが、府の高校球界で評判になった。

昭和六二年、新日鉄堺に入社。その後の野茂の球歴は華麗である。ノンプロ時代はソウル五輪で銀メダル、インターコンチネンタルカップで奪三振王。六四年、プロ野球のドラフトで八球団が一位指名する中、近鉄が史上最高の一億二千万円で野茂を獲得。そしてこの年、最多勝、防御率・勝率・奪三振一位、新人王、ベストナイン、沢村賞、MVPの八冠を獲得した。このずば抜けた球歴を持つ野茂が、平成七年一月九日、突然、近鉄を退団。二月一三日、ドジャースに大リーグ未経験者としては過去最高の二〇〇万ドル（約一億八〇〇〇万円）の契約金で入団するのである。

大リーガー・野茂英雄の誕生は、三一年前、サンフランシスコ・ジャイアンツに入団した村上雅則（当時・二〇歳）以来、日本人では二人目だった。

野茂が大リーガーとして注目を集めたことの意味を、「野球小説」でも知られる作家の赤瀬川隼氏は次のように語る。

「村上の時は球団同士の話し合いによって、いわば武者修行のためという形でした。しかし野茂は、自分の意志で大胆に大リーグへの道を切り開いた。その後は、続々と高校生まで直接大リーグに挑んでいます。こうした流れは、日本の野球レベルを上げ、日本人が抱いている野球というスポーツのイメージを、少しずつ変えてきているのではないでしょうか」

野茂は一年目に一三勝をあげ、新人王を獲得。二年目一六勝、三年目一四勝と好調だったが、四年目の平成一〇年六月、不振でニューヨーク・メッツに移籍。通年で六勝にとどまった。試練の時期に入ったと言えよう。

▶平成七年六月二日、野茂は七度目の先発となったメッツ戦で初勝利をおさめた。右端はラソーダ監督。
AP／WWP

◀平成七年七月一一日、大リーグ・オールスター戦でナショナルリーグの先発として登場した野茂。新人で先発というのは、あのバレンズエラ以来一四年ぶりの栄誉だ。
朝日新聞社

決定的瞬間

ビルが一瞬にして崩落！ソウル・三豊百貨店事故 一七日目の〝奇跡の生還〟

◀ビルの竣工は6年前。事故の直前、巡回していたデパートの重役が壁のすき間をのぞいて、「鉄筋が入っていない」と驚いたという。

共同通信社

韓国の首都・ソウル市街を、南北に横切るように流れる漢江。その南岸は江南地区と呼ばれ、さまざまな近代的な都市施設が立ち並ぶ一画だ。「漢江の奇跡」と呼ばれた、一九八〇年代の韓国の高成長を目のあたりにできる地区でもある。

そこに、一九八九年にオープンしたデパート・三豊百貨店がある。

一九九五年六月二九日の夕刻。店内は、昨日と同じように、夕食の支度を急ぐ買い物客でにぎわっていた。

午後六時頃、その活気のある店内の喧騒は一瞬にして、轟音と悲鳴の交錯する修羅場へと変わった。一階から五階部分までが、幅約七〇メートル、奥行き約七〇メートルにわたって突然崩れ落ちたのである。

轟音がやんだ時、コンクリートの塊や鉄筋が山のように積もり、建物は地下三階にある駐車場まで、えぐれるように崩れていた。

暮れなずむ中、投光器の明かりのもとで徹夜の救助活動が始まった。

足場が悪いため、大型クレーンなどの重機が使えない。救助隊員たちは、切断機や小型油圧機などを使って、瓦礫を取りのぞきながら生存者をさがした。深夜になって、地下で火災が発生し有毒ガスが充満し、救助作業はさらに難航した。

事故の翌日、在韓米軍や大韓赤十字社などの応援が加わったが、作業の困難さはあいかわらずだった。結局、救出作業は、七月なかばになっても続いていた。

崩落の徴候は、数日前からあった。

事故当日の午前七時、警備員は、食堂街のある五階の壁に約三〇センチの亀裂を発見した。午前八時、同じ五階の壁と床が傾き、四階では床の沈下による亀裂が発見された。正午頃、天井から水が噴き出し、その後、そこが突然、崩れ落ちた。

午後四時頃、李鐏会長（七三）、李漢祥社長（四二）ら百貨店の幹部は、緊急安全対策会議を開く。席上、担当者から崩壊の危険があると指摘を受けたが、閉店後の応急工事を決定しただけで、そのまま営業を続けることとなった。

事故発生一〇分前。李会長らは、店内を視察していた施設部長から「崩壊が始まっているようだ」との連絡を受け、店外に避難した。驚くことに、緊急避難放送などの対応の指示はなされなかった。

建物は手抜き工事が行われたうえ、たび重なる強引な増築や用途変更のため、みずからの重量に耐えられないほどもろくなっていた。

そして、建物の崩壊が起こった。

その時、女性従業員の朴勝賢さん（一八）は職場である地下一階の子ども服売り場にいた。轟音とともに床が抜け落ち、先輩の女性店員と一緒に墜落、頭部を強打して意識を失った。

気がついた時、あたりは真っ暗だった。崩れ落ちた壁の向こう側に、先輩の声が聞こえたがすぐに途切れた。朴さんは助けを求めて叫び、脱出を試みたが、すべて無駄だった。

事故発生から一七日目の七月一五日が来た。生存者がいたとしてもすでに死亡してしまっただろうと、絶望視されていた。しかし、朴さんは生きていた。この日、地下二階部分のコンクリート壁の除去作業を続けていた救助隊員が朴さんを発見した。右足の怪我と軽い脱水症状を負っていたが、元気だった。

朴さんは救出される際、救助隊員に「きょうは何日ですか」とたずね、さらに「水がほしい」「暑くて衣服を脱いでしまっているので、恥ずかしい。何か着るものをください」と求めたという。

朴さんのほかにも、何人かの従業員や買い物客が一週間以上もたってから瓦礫の中から奇跡の生還をはたした。しかし、それはあくまでも例外であった。

朴さんが救出された二日後の七月一七日、事故対策本部は、事故の死亡者は四〇六人、行方不明者は二六四人、負傷者九三二人と発表した。

AP WWP

▲救出の翌日、収容された病院で治療を受ける朴勝賢さん。韓国の新聞「中央日報」によれば、生き埋めになってから救出されるまでの15日17時間は、1979年のオーストラリアでの18日間に次ぐ長さだという。

美の出会い

六億円の“マンガ”の評判は？東京都現代美術館オープンに「ヘアリボンの少女」の大騒動

◀リキテンスタイン「ヘアリボンの少女」。1965年。キャンバス、油彩、121.9×121.9センチ。リキテンスタインの作品の中でも、最も人気が高く、1960年代ポップ・アートの代表作のひとつとされる。

平成七年三月一九日、東京都江東区の都立木場公園に、東京都現代美術館が開館した。二万三七八〇平方メートルの敷地に、総工費約四〇〇億円をかけ、地上三階、地下三階、延べ面積三万三五一五平方メートルという日本最大の美術館ができた。

ところが、このオープンを伝える新聞各紙の見出しは、美術館誕生を伝えるには奇妙なものが多かった。

「六億円の『少女』評判は？」（「朝日新聞」三月一九日）

「高額絵画など三五〇〇点」（「日本経済新聞」三月一八日夕刊）

「すったもんだがありました」（「産経新聞」三月一八日夕刊）

などと、なにやら胡散臭いものだった。

現代美術のメッカとしては、アメリカにはニューヨーク近代美術館があり、フランスにはポンピドー・センターがある。それに続いて、世界規模の巡回展などを可能とする近代美術の活動拠点が、東京にも求められていた。そこで東京都は一〇年前から設立準備にかかり、ようやく実現したのである。

問題は前年の平成六年、同美術館の目玉として購入予定となっていた作品が、都議会で六億円であることが明らかにされたことに端を発している。その作品とは、アンディ・ウォーホルと並ぶ、ポップ・アートを代表する画家、ロイ・リキテンスタインの作品「ヘアリボンの少女」で、マンガの一部を拡大し、キャンバス上に写し取ったものである。東京都の税収不足が問題となっていた折から、新聞各紙は六億円が高すぎないか、適正な価格かどうか、作品の写真入りで報道した。

「作品購入ベールの中　これが超目玉六億円　都民『税金なのに何故』　総額六五億円」（「東京新聞」九月一一日）

「アタシって、六億五千万もするのォ？　都議会で美術論争」（「読売新聞」九月二三日）

これらすべて、文化面ではなく、社会面で扱われたのだった。

ある都議からは「六億円でマンガを買うのか」と素朴な疑問が出たという。こうした社会問題化した作品購入時の事情が開館時まで持ちこされ、前出の奇妙な報道となったのである。

ポップ・アートとは、ニューヨークのグッゲンハイム美術館のキュレーターで批評活動をしていた英国人のローレンス・アロウェイが初めて用いた言葉で、ポピュラー・アート（大衆芸術）に由来している。一九六〇年代にニューヨークを中心に広がったスタイルで、マンガ、映画やテレビのスチール、商業デザインなど、大衆社会のイメージをテーマとして使い、反芸術を志向した。おもなポップ・アーチストとしては、ウォーホル、リキテンスタイン、オルデンバーグ、ウェッセルマン、シーガルらが活躍していた。

一九二三年にニューヨークで生まれたロイ・リキテンスタインは、一九五七年にはニューヨーク州立大学の助教授となり、抽象表現主義の作品を制作していた。一九六一年からドナルド・ダックやミッキー・マウスなど、コママンガをほとんどそのまま拡大したものを作品として発表し、一躍、現代美術界のスターとなったのである。

こうしたアメリカ発の現代美術に関して、日本では一般にはほとんど理解されていないのが現状である。東京・銀座の画廊、ミウラ・アーツの三浦誠氏は、こう解説する。

「アメリカ現代美術の作品の価格が高すぎるという印象は、誰もが持っているでしょう。その中で東京都現代美術館が、スケープゴート的に扱われたのではないでしょうか。印象派や後期印象派などの歴史的な作品と、アメリカ現代美術が同じレベルで値がつけられていることもおかしいなと思っていました。もちろんアメリカ現代美術の時代性は感じますが、作品の成り立ちなどを、一般の人が理解できないというのも、正直な見方だと思います」

芸術として文化・学芸面で論議されずに、社会面をにぎわすという不幸なスタートとなった美術館では、開館記念展として写真家・荒木経惟ら一八人の作家による「日本の現代美術一九八五〜一九九五」を企画展示した。同展は三月一九日から五月二一日まで開かれ、入場者総数は四万九五二三人だった。また問題の「ヘアリボンの少女」などが展示された常設展示室には、翌年三月までに一四万人が訪れた。

ニューヨーク発の現代美術は、日本ではまだまだ一般の関心が薄いようだが、東京都現代美術館の活動を契機に、その魅力が理解され、関心の高まることが期待されている。

◀アンディ・ウォーホル「六枚組の自画像」。一九六六年。キャンバスにシルクスクリーン、一六九×一一二センチ。ウォーホルは、マンガやマリリン・モンローの写真などを使い、シルクスクリーンの技法で反復し制作した。反芸術的な絵画により、ポップ・アートのスターと言われる。

◀東京都現代美術館。平成二年に吉田五十八賞を受賞した建築家・柳澤孝彦の設計による。

20世紀博物館

東海大学海洋科学博物館

静岡県・清水市

「当館生まれ」と「ロボット」の魚たちが泳ぐユニークなとり合わせ

桑原茂夫

この博物館は二つの顔を持っている。ひとつは水族館としての顔であり、もうひとつは科学博物館としての顔である。そして水族館を代表する装置には、縦・横一〇メートル、高さ六メートルの大きな海洋水槽がある。今でこそ巨大水槽も珍しくないが、この水槽が完成した昭和四五年当時は、世界で初めての大規模水槽として注目された。博物館近くに広がる駿河湾を凝縮したような水槽で、現在、マグロやエイなど五〇種二六〇〇匹が泳ぎまわっている。

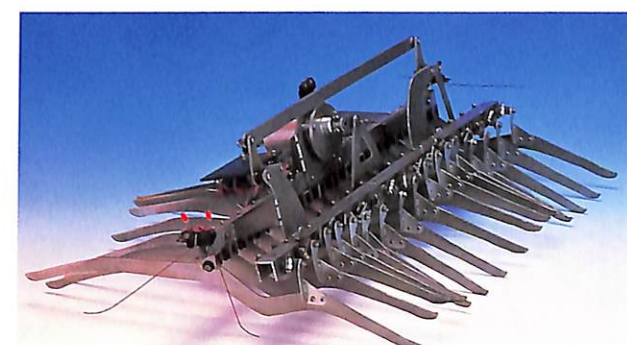
さらにこの水族館には、地味だが、ほかの多くの水族館にはない特長がある。それは、ここには「当館生まれの魚」がたくさんいるということだ。これについては、上野動物園の名物園長、故・古賀忠道氏を記念して設けられた、権威ある「古賀賞」を、平成一〇年五月に受賞したほど。

東海大学海洋科学博物館提供

▲海洋水槽は、サンゴ礁の海、海藻の海、砂底の海、岩礁の海と、4つのコーナーに分けられており、それぞれの特徴ある光景を楽しむことができる。

▲この一般水槽には「当館生まれの魚」もいるが、海で生まれた魚との区別はつかない。みな元気に泳ぎまわっている。

水槽内で誕生させ成長させるこの館の繁殖技術は、ハイレベルなのである。なにしろここには、カクレクマノミやハリセンボンなど、たくさんの「当館生まれの魚」が泳いでいるのである。ここを訪れてまず最初に目に入る「トビウオの赤ちゃん」も、そのうちの一種だ。体長四〜五センチほどの小さな魚が、時々、胸びれを大きく翼のように広げる様子は、まぎれもなくトビウオのものだった。

さて「当館生まれの魚」が元気よく泳いでいるかと思うと、別のコーナーではロボットが泳いでいるというところが、この博物館のユニークなところだ。海洋生物の生態や行動を研究するところから生まれたロボットで、餌に向かって進む人工知能つきの「ヤツアシカンガエビ」や、ウミガメに似た動きをする「オヨギマンネン」など、そのネーミングとともに動きもユーモラスなロボットが、合計一五〇体も作られ、展示されている。

▲この博物館ならではのロボット。これは海岸にいるフナムシなどの節足動物を模した「ハバヒロナミアシ」で、たくみに足を運んで動きまわる。

また、いかにも科学博物館らしい実験装置も多々あるが、特に津波を起こしてみせる実験水槽はエキサイティングだ。

防波堤のある海岸と周辺の町が五〇分の一縮尺の模型で作られており、沖合で起こった津波が、一五メートルもの高さになってこの海岸に襲いかかるという想定で実験が行われる。水槽の奥で起こされた波は、あっという間に大津波となって海岸に押し寄せるのだが、何よりもその速さに驚かされる。海のそばにいて、大きな地震にあった時や津波警報が出された時は、ただちに少しでも高い方へ避難すべきだとされているのは、当然のことだったのだ。

海は生きている——このありふれたフレーズが、ミステリアスな香りとともに、生き生きと浮かび上がってくる博物館なのであった。

●東海大学海洋科学博物館
静岡県清水市三保二三八九
☎〇五四三—三四—二三八五
JR清水駅から三保ランド行きバスで三〇分、終点下車、徒歩三分
開館時間＝九時〜一七時
休館日＝一二月二四日〜一月一日
入館料＝一般一五〇〇円

▲手前の海底を隆起させたり陥没させたりして、津波を起こす実験水槽。あっという間に、向こうに見える海岸を襲う。50分の1縮尺の模型だが、その迫力はすごい、のひとことだ。

「基地や米兵におびえる生活はもういやです」
小学生の少女が襲われる事態を放置したのは誰だ!

「米兵暴行事件」と沖縄の怒り

◀9月26日、「暴行事件」に抗議する集会の後、3000人が雨をついて、米海兵隊司令部までデモ行進をした。

朝日新聞社

▲犯人、マーカス・ギル(22)

▲同、ロドリコ・ハープ(21)

ロイター／サンテレフォト（上も）

▲同、ケンドリック・リディット(20)

AP WWP

米軍の三人の兵士が小学生の少女に暴行を働いた事件を発端に、沖縄では反米軍基地の闘いが燃え広がった。日本復帰当時に、基地の整理縮小に努力するとした国会決議が履行されないばかりか、むしろ「安保再定義」論により、基地の強化、恒久化の動きさえある中で、沖縄県民は、基地全廃に取り組もうとしている。

「暴行糾弾、協定見直し」八万五〇〇〇人が結集!

平成七年一〇月二一日午後、沖縄県中部の宜野湾市海浜公園に、「わじわじーする思い」にかられた八万五〇〇〇人もの人々が集まっていた。「わじわじー」とは、沖縄方言で、はらわたが煮えくり返るような怒りと、それをどこにぶつけたらいいのかわからないいらだちとが、ない交ぜになった気持ちをさす。

この集会の中で、最も共感を呼んだのは、普天間高校三年の仲村清子さん（一八）の言葉だった。

「私は戦争が嫌いです。基地や米兵におびえる生活はもういやです」

そして次のひとことで会場は、静まり返ったのである。

「あきらめてはいけない。あきらめたら次の悲しい出来事が起きます」

　この年九月四日、小学校六年生の少女が、沖縄本島北部で、米海兵隊基地に所属する三人の兵士、マーカス・ギル（二二）、ロドリコ・ハープ（二一）、ケンドリック・リディット（二〇）によって暴行された。身長二メートルにも達する巨漢の三人は、ノートを買って帰宅する途中の少女を拉致し、口や目に粘着テープを貼り、手足を紐で縛ってレンタカーに乗せ、暴行した。きわめて計画的かつ極悪な犯罪であり、懲役六年六ヵ月から七年の判決を受けた。

　しかし、戦後五〇年、日本に復帰して二三年も経っているというのに「日米地位協定」により、米国軍人・軍属は起訴まで日本側が身柄を拘束できない。言い換えれば日本国憲法の適用を受けない、治外法権がまかり通っているのである。

　この事件の犯人たちも、米軍憲兵に身柄を拘束されたものの、日本側に引き渡されたのは起訴の後だった（この事件後、「凶悪犯に限り」起訴前に身柄を引き渡すと地位協定の運用上の改定が行われたが、実際は平成一〇年一〇月の女子高生轢き逃げ殺人事件の米兵も、起訴まで身柄が引き渡されなかった）。

　そのため、人々の「わじわじーする思い」は、まず第一に米軍と基地に向けられた。だが、それだけではなかった。村山富市首相（七一）や河野洋平外相（五八）ら政府の対応も、沖縄民衆の気持ちを逆なでするものだった。村山首相はじめ政府首脳は、「地位協定の見直しは先走りすぎ」と消極的な姿勢で終始していたのである。

朝日新聞社

▶10月21日、8万5000人が参加した「米軍人による少女暴行事件を糾弾し、日米地位協定の見直しを要求する沖縄県民総決起大会」。

米兵の殺人は二年に一件 検挙率は四分の一以下

　面積が日本国土の〇・六パーセントにすぎない沖縄には、全国の七五パーセントの米軍基地が集中している。

　もともと沖縄は、太平洋戦争末期に、国内で唯一の地上戦を体験し、県民の三分の一近くの約一二万人が命を奪われている。しかもそれはまったく勝算がなく、たんに本土決戦までの時間稼ぎにすぎなかった。そして戦後は、米軍に「銃剣とブルドーザー」で不法に土地を奪われ、「沖縄の中に基地がある」のではなく、「基地の中に沖縄がある」とさえ言われている。安保堅持という国策のために、沖縄は「本土の犠牲」を強いられてきたのに、そのうえ、米兵の犯罪にまで耐えろというのか、という思いが県民の心に蓄積されたのは当然のことである。

　昭和四七年の沖縄の本土復帰から平成七年八月末までの、米兵の検挙人数は四五九三人にのぼる。この人数は沖縄の全刑法犯の約六パーセントに達している。また、米兵による殺人事件は、復帰からこの年まで一二件発生している。二年に一件の割合だ。

　「この数字も実は氷山の一角。レイプは親告罪ですから、泣き寝入りしたケースが九割以上と警察関係者も語っています。また、復帰以前、昭和四〇年代のベトナム戦争当時は、毎年一〇〇〇件以上、殺人、強姦、放火などの米兵による犯罪が起きました。しかも検挙率は、低い時は四分の一以下だったため、米兵がたかをくくり、犯罪が助長されました」（福地曠昭・沖縄人権協会理事長）

　沖縄では、事件以前から子どもたちの間で、「Yナンバー（米軍関係の車両）が来たら逃げろ」と言われている。江戸時代の無礼討ちにも似た暴虐に、子どもたちはおそれおののいているのである。

　こうした状況におかれた県民の怒りは、米兵の暴挙によって、いっきょに爆発し、基地の見直し要求の闘い、基地用地の強制収用に対する知事の代理署名拒否訴訟事件に発展する。

　基地用地借用契約を地権者が拒否した場合、該当する市町村長が代理署名し強制収用することができる。さらに市町村長が拒否した場合は、都道府県知事が代理署名するとされている。沖縄では、市町村長も、大田昌秀沖縄県知事（七〇）も代理署名を拒否したため、首相が大田知事を相手に「代理署名を行うよう」訴訟を起こした。首相が自治体の長を相手に訴訟を起こすという前代未聞の事態は、最高裁まで争われたすえ、県側の敗訴に終わった。しかし、その間には、契約期限の切れた他人の土地を米軍が〝不法占拠〟し、日本政府が黙視するという信じられない一幕さえ生じたのである。

　そして、平成九年の橋本龍太郎政権による「米軍用地特別措置法」の改定とは、そうした〝非合法〟を合法化するためのペテン的手段だった。

　沖縄民衆の要求闘争の経緯を沖縄大学の新崎盛暉教授は、こう解説する。

　「昭和四六年の沖縄返還協定批准国会で、沖縄基地の整理縮小が決議されていますにもかかわらず日本政府は、その後四半世紀にわたって解決をおこたってきました。それどころかむしろ、アメリカ側は基地機能の強化と恒久基地化を意図しています。そうした中で、少女暴行事件によって、基地を根本的に見直す気運が全国的にも盛り上がりました。しかし、日本政府は、アメリカに対し、及び腰のままです。一方、沖縄県は、二一世紀に基地を全廃するアクションプログラムを構想しています。その間で、膠着状態となっているのが沖縄の現状です」

▶平成八年三月、那覇地裁に入る被告の母親ら。息子をかばい続けた。

毎日新聞社

▶大田昌秀沖縄県知事。平成一〇年一一月に落選。

共同通信社

ロイター／サンテレフォト

共同通信社

▶ＨＩＶ訴訟団がデモ（7月24日）実名を公表した川田龍平君（19、写真左）らが、厚生省前で抗議。10月、東京・大阪地裁は国と製薬会社の責任を認めた。

▶アウン・サン・スー・チー、6年ぶり解放（7月10日）国際的非難を緩和するため、軍事政権が反政府勢力の弱体化を見届けて決断。ミャンマー民主化運動の指導者が、やっと自宅軟禁を解かれた。

朝日新聞社

◀北信越に大雨（7月13日）2日前から1時間40～60ミリの激しい雨が降り続き、河川氾濫や土砂崩れが続発。8800人が避難した。写真はＪＲ大糸線の平岩駅付近、姫川の濁流で線路が崩壊。

共同通信社

▶短銃男、警官を拉致（7月25日）任意同行を求めた埼玉・狭山署員を、捜査車両に乗せて逃走。県道で包囲され約7時間後、自殺未遂。車中には覚醒剤が。

▼「官官接待」根絶を決議（7月29日）行政の監視活動を行う民間団体、全国市民オンブズマン連絡会議が、名古屋で年間推計約300億円の接待全廃を要求。

毎日新聞社

▶松岡修造（27）、ウィンブルドンでベスト8（7月3日）全英テニス選手権のシングルス4回戦で、ジョイス（米）をストレートで破り、コート中を走りまわって喜びを表した。日本選手では62年ぶり、佐藤次郎以来の快挙。

AP／WWP

平成7年7月

1（土）●PL法（製造物責任法）、施行。
●簡易型携帯電話のPHS、サービス開始。
2（日）●日本人の平均寿命、一〇年連続して世界一更新、と厚生省（女性八二・九八歳）。
3（月）●ウィンブルドン選手権シングルスで、松岡修造、伊達公子（女子で初）がベスト8へ。
4（火）●英のメージャー首相、保守党党首に再選。
5（水）●須賀川市の女性祈禱師宅で六人の遺体を発見。
6（木）●東京地検、エイズワクチンについての嘘の情報で株価つり上げたと、元会社社長逮捕。
7（金）●最高裁、国道四三号線と阪神高速道路の道路公害訴訟で、国・公団の賠償責任を初認定。
8（土）●兵庫県、二〇〇四年目標の震災復興計画発表。
9（日）●仏海軍、核実験抗議の調査船を拘束。
10（月）●ミャンマー（ビルマ）の軍事政権が、アウン・サン・スー・チーの自宅軟禁を六年ぶり解除。
11（火）●米国とベトナム、国交正常化（8月5日調印）。
12（水）●公取委、下水道談合で東電九社に課徴金命令。
13（木）●オリックスのイチロー、オールスターファン投票で九九万四四九三票の最多記録。
14（金）●耕地利用、労働力不足で初の一〇〇㌫割れに。
15（土）●環境庁、自動車排ガスの小型測定局設置発表。
16（日）●村山首相、水俣病未認定患者救済で、首相として初めて国の責任に言及。
17（月）●最高裁、日本撚糸工業組合の汚職事件で元民社党代議士・横手文雄の無罪判決を破棄。
18（火）●芥川賞に保坂和志、直木賞に赤瀬川隼が決定。
19（水）●赤字でもベンチャー企業なら株式公開できる第二店頭（特則銘柄）市場がスタート。
20（木）●米国・シカゴ市中心に熱波、八〇〇人以上死亡。
21（金）●全国の路線バスの赤字、一〇四三億円。
22（土）●Jリーグ前期、横浜マリノスが初優勝。
23（日）●第一七回参院選挙（新進躍進、自・社不振）。
24（月）●携帯・自動車電話の加入が五〇〇万件突破。
25（火）●パリの地下鉄で爆弾テロ、四人死亡。
26（水）●天皇・皇后、「慰霊の旅」で長崎・広島へ出発。
27（木）●ヤオハン、海外要員の女性一〇〇人を採用。
28（金）●武村蔵相、大蔵省幹部の中島義雄を健康飲料事業に出資の副業疑惑で解任（同日辞職）。
29（土）●全国市民オンブズマン大会、「官官接待」根絶宣言を決議。
30（日）●八王子市のスーパー事務所に強盗が入り、アルバイトの女子高生ら三人を射殺。
31（月）●東京都、コスモ信用組合に業務停止命令。

共同通信社

◀へそ出しルック流行（8月）女子高生などの低年齢層から、次第に若い女性たちに浸透。ボディコンブーム以来、女性の肉体志向は行き着くところなし。

読売新聞社

▲木津信組・兵庫銀行、経営破綻（8月31日）拡大路線がバブル崩壊で一転、不良債権の山に。大阪府から業務停止命令を受けた木津信組に、預金者が殺到。

毎日新聞社

◀中国製「やせる石鹸」ブーム（8月）国内価格の1割、200円で買えるため、大量に持ち帰る人が多く、成田税関は薬事法制限数を超えた没収品であふれた。

▶函館空港に縄文遺跡（8月）滑走路拡張予定地から、約8000年前の竪穴住居跡を次々に発見。縄文早期、海峡に面した段丘に大集落があったことが明白に。

朝日新聞社

ロイター／サンテレフォト

◀18メートルの壁を突破（8月7日）スウェーデンのイエーテボリで開かれた世界陸上の三段跳びで、世界記録保持者、英国のエドワーズが1回目18メートル16、2回目18メートル29と「夢」を実現。

ロイター／サンテレフォト

◀米・ベトナム関係、正常化（8月5日）当面の共通利益を優先。ベトナム戦争の補償、捕虜問題を棚上げした。写真は国交正常化文書を交換する、クリストファー米国務長官（左）とベトナムのカム外相。

平成7年8月

1（火）●北大附属病院、四歳男児に免疫機能回復の「遺伝子治療」を日本で初めて開始。
2（水）●武村蔵相、円高是正で海外投融資促進策発表。
3（木）●私立大学の入学辞退率五一・四㌫と文部省。
4（金）●クロアチア軍、クライナ地方の攻撃開始（6日、制圧。セルビア人避難民一五万人以上）。
5（土）●宮城県金華山沖で漁船が炎上、五人死亡。
6（日）●広島で戦後五〇年の平和記念式、六万人参加。
7（月）●英のエドワーズ、三段跳びで一八㍍二九㌢。
8（火）●村山改造内閣スタート。
9（水）●島村宜伸文相の侵略めぐる戦争観発言問題化。
10（木）●神奈川県山北町の東名高速で観光バスとトラックが衝突、小学生ら三人死亡。
11（金）●クリントン米大統領、核実験全面禁止を発表。
12（土）●日航ジャンボ機墜落事故から一〇年がたち、御巣鷹山麓で追悼慰霊式。
13（日）●村山首相からメージャー英首相への親書が、戦時中の日本軍の行為を謝罪せず、と波紋。
14（月）●仮谷さん殺人事件で、麻原ら七人を逮捕。
15（火）●テニスのモニカ・セレシュ、背中を刺されての休養から二年四ヵ月ぶりに復活。
16（水）●ケニア・ナイロビの日本人学校で校長射殺。
17（木）●中国、本年二回目の地下核実験と発表。
18（金）●路線価、一平方㍍約二二万円で三年連続下落。
19（土）●作家・大江健三郎、核実験に抗議しフランスで開催のシンポジウム参加を拒否。
●マイク・タイソン、出所後初の復帰戦で勝利。
20（日）●神戸市、市内二六一ヵ所の震災避難所を廃止。
21（月）●韓国・ソウル南郊の更生施設全焼、三七人死亡。
22（火）●リビチ郁子さん親子、クロアチアの難民キャンプから三年ぶりに救出（25日、日本到着）。
23（水）●東京の真夏日が三二日間連続で一〇一年ぶりの記録更新（28日、三七日間連続を記録）。
24（木）●「ウィンドウズ95」（英語版）、世界各地で発売。
25（金）●トヨタ自動車社長に奥田碩副社長が昇格（創業家・豊田一族以外の社長就任は初）。
26（土）●オリックスの佐藤義則投手、対近鉄戦で四〇歳の最年長ノーヒット・ノーラン達成。
27（日）●有森裕子、北海道マラソンで三年ぶり優勝。
28（月）●東京・中野区で信組職員撃たれ現金強盗。
29（火）●閣議、ゴラン高原の国連兵力引き離し監視軍（UNDOF）に自衛隊派遣準備を了承。
30（水）●兵庫銀行と木津信用組合の破綻処理が決定。
31（木）●東京地裁、オウムの銀行口座を仮差し押さえ。

▶**大和銀行、約1100億円損失(9月26日)** ニューヨーク支店嘱託行員(44)が、11年にわたり帳簿外で米国債投資に手を出して失敗。管理の甘さが目立った。

▼**東京六大学に初の女性投手(9月19日)** 明大の左腕・ハーラー(23)が東大戦に登板。1回3分の2を投げ、5四死球、無安打無失点。神宮球場が沸いた。

▶**青島都知事、「公約」撤回(9月27日)** 予算委で、経営破綻におちいったコスモ信組への支援を表明。「乱脈融資の援助はしない」との約束は反故。都市博に断固反対した意地はなし。

共同通信社

▶**リニアモーターカー公開(9月25日)** JR山梨リニア実験線基地で水鳥のくちばしのような頭部を見せた。2年後、時速500キロを目標に実験走行、21世紀の実用化をめざした。

朝日新聞社

▼**フランスが4年ぶり核実験(9月5日)** 南太平洋のムルロア環礁で、国際的抗議を無視して強行。タヒチ島での2日の反対集会には、日本から新党さきがけ代表で蔵相の武村正義が参加した。

報知新聞社

▼**公定歩合、史上最低の0.5パーセントに(9月8日)** 日銀が消費拡大を求め、空前の金融緩和。都市銀行は、預金金利を1年物スーパー定期で年利わずか0.25パーセントに。

AFP PANA通信社

平成7年9月

1(金)●エチオピア、大統領暗殺未遂でスーダンに国営航空の乗り入れ禁止などの制裁措置。
2(土)●預金保険機構、日銀から初の資金借り入れ。
3(日)●日教組大会、日の丸・君が代問題を棚上げし、指導要領容認、文部省との和解方針を採択。
4(月)●沖縄本島北部で女子小学生が米海兵隊員ら三人に暴行される(29日、三米兵起訴)。
5(火)●フランス、ムルロア環礁で地下核実験強行。
6(水)●坂本堤さん一家三人の遺体、相次いで発見。
●米大リーグ、オリオールズのリプケン内野手、二一三一試合連続出場の大リーグ新記録。
7(木)●前年の自民党向け企業献金、四一億円と判明。
8(金)●最高裁、長崎じん肺訴訟で賠償金上乗せ判決。
9(土)●胃癌はピロリ菌が原因、実証の臨床試験開始。
10(日)●米軍、セルビア勢力拠点に初の巡航ミサイル。
11(月)●近親者の卵子をもらい、米国で体外受精計画一〇例と民間代理母出産情報センターが公表。
12(火)●法制審議会民法部会、選択的夫婦別姓制、兄弟姉妹は同一姓などの中間報告を公表。
13(水)●組合健保、六年ぶり、八一五億円の赤字発表。
14(木)●大蔵省、住専の不良債権八兆四〇〇〇億円と。
15(金)●デジタル・ビデオ・ディスク(DVD)の規格統一で東芝・松下とソニー陣営が合意。
16(土)●東急CATV、インターネット接続サービス開始の方針発表。
17(日)●関東地方で戦後最大級の台風12号が接近。
18(月)●香港の議会選で民主派が半数近い議席を獲得。
19(火)●プロ野球パリーグでオリックス初優勝。
20(水)●政府、約一四兆二二〇〇億円の景気対策決定。
21(木)●原爆ドームと厳島神社を世界遺産に推薦。
22(金)●自民党総裁選で橋本龍太郎通産相が、小泉純一郎元郵政相をおさえ、第一七代総裁に。
23(土)●宮杯レースの謝礼、高松宮・三笠宮家が返済へ。
24(日)●リビア、パレスチナ人三万人に国外退去命令。
25(月)●橋本大二郎高知県知事、官官接待全廃を表明。
26(火)●大和銀行、ニューヨーク支店元嘱託行員の米国債投資の失敗で約一一〇〇億円の損失発表。
27(水)●水戸地裁、知事選落選者についての投票前日の記事で、日経新聞社に過失を認め賠償命令。
28(木)●大田昌秀沖縄県知事、米軍用地の強制使用手続きの代行(代理署名)を拒否。
29(金)●衆院、「憲法改正案小委」の秘密会速記録を四九年ぶり公開。
30(土)●ドジャース、ナリーグ西地区優勝。

遠谷義人『アジア 自転車の旅』遠谷出版提供

証言・あの日この日
澁谷義人(35)

12月25日(月) 〈ツーズー病院を訪れるとチェン女医がこころよく受け入れてくださった。若いドクターが二階の病室に案内してくれた。ベッドに片足の少年が寝ている。思春期の年格好だが目はうつろで顔にはりがない。ただぼんやりして手足をぶらぶらさせている。どこかで見た顔だ。ドクターが「ベト」と一言。あっベトちゃんだ〉(澁谷義人『アジア 自転車の旅』)

高校で社会科を教える澁谷義人は、この年、自転車によるアジア訪問の旅に出かけた。モンゴル、台湾、シルクロードを経て、ベトナムへ。〈ベトナムは想像以上に明るく活気に満ち溢れていた〉が、しかし、ベトナム戦争の傷跡もまだ各所になまなましい。この日、ホー・チミン市のツーズー病院を訪れた澁谷は、すっかり少年に成長したベトちゃん、ドクちゃんに会う。(山崎行太郎)

日刊スポーツ

▲**ヤクルト、3度目の日本一(10月26日)** 野村「ID野球」のイチロー封じが成功、4勝1敗でオリックスに圧勝。「仰木マジック」は力を出しきれぬまま敗れた。写真は、神宮球場で喜びのヤクルトナイン。

▼**2代目・水谷八重子襲名(10月18日)** 戦後新派の大黒柱だった母の「名跡」を、娘・良重が継いだ。写真は、襲名記念に東京の浅草寺境内を、袴姿の若衆姿で練り歩く水谷。「2代目!」の声が飛んだ。

朝日新聞社

読売新聞社

▲**水俣病問題、40年目の決着(10月28日)** 政府最終案、一人当たり260万円の一時金支給、総額49億円の加給金支払いなどを、被害者5団体が多数決で、苦渋の受諾。

▶**水死偽装事件の容疑者逮捕(10月16日)** フィリピンで警察官4人と共謀、身替わり死体を調達して、約6億5000万円の保険金の詐取をもくろんだ。

共同通信社

共同通信社

▲**ホームレスの老人、災難(10月18日)** 大阪・道頓堀の戎橋で寝ていたところ、突然、若い男二人に川へ投げこまれて水死。大阪府警は、25歳と24歳の男を逮捕。写真は花や線香が供えられた現場。

平成7年10月

1(日)●世界体操選手権、鯖江市で開幕(~10日)。
2(月)●資生堂、独禁法違反を認め、排除勧告を応諾。
3(火)●殺人容疑のO・J・シンプソンに無罪評決。
4(水)●群発地震の静岡県伊豆沖で火山性微動観測。
5(木)●クリントン米大統領、ボスニア・ヘルツェゴビナ紛争の停戦合意を発表(12日、停戦発効)。
6(金)●東京・大阪両地裁、HIV(エイズウイルス)訴訟で国と製薬会社の責任を指摘し和解勧告。
7(土)●オウム真理教・上祐史浩を偽証容疑で逮捕。
8(日)●巨人の原辰徳、現役を引退。
9(月)●田沢智治法相、立正佼成会からの二億円借り入れで国会質問中止要請疑惑が浮上し辞任。
10(火)●国連の明石康特別代表、辞任(後任にアナン)。
11(水)●森井忠良厚相、HIV訴訟で原告に謝罪。
12(木)●佐渡裕、第一回バーンスタイン・エルサレム国際指揮者コンクールで優勝。
13(金)●「パグウォッシュ会議」にノーベル平和賞。
14(土)●水死偽装し保険金詐取ねらった和泉市の元医療法人会長、フィリピンで拘束(16日逮捕)。
15(日)●「ニューヨーク・タイムズ」、CIAが通産相と自動車メーカーとのやりとり盗聴、と報道。
16(月)●ワシントンで強硬派黒人団体議長が提唱の「一〇〇万人集会」に、四〇万人参加。
17(火)●大阪地裁、土地の時価を上回る相続税に違憲の疑いがあると減額判決。
18(水)●宝珠山昇防衛施設庁長官、代理署名問題で首相の対応批判(19日、辞任、後任に諸冨増夫)。
19(木)●米連邦地裁の大和銀行巨額損失事件で、「損失隠しを本店役員が指示」と被告が認める。
20(金)●消防組織法改正法、成立(他県へ出動可能に)。
21(土)●沖縄の県民総決起大会に八万五〇〇〇人参加。
22(日)●国連創設五〇周年記念総会に一七七ヵ国参加。
23(月)●世界湖沼会議、茨城県で開幕(七九ヵ国参加)。
24(火)●遠藤周作、花房秀三郎、増田四郎らに文化勲章(女優・杉村春子が授章打診に辞退)。
25(水)●オウム真理教・麻原被告の初公判、延期。
26(木)●プロ野球日本シリーズでヤクルトが優勝。
27(金)●電力一〇社など、円高差益還元で値下げ申請。
28(土)●水俣病被害者・弁護団全国連絡会議、政府が提示した最終解決案を受け入れて事実上決着。
29(日)●米国・ロシアが提唱した第二回中東・北アフリカ経済サミット、アンマンで開催。
30(月)●カナダのケベック州民投票で分離反対派辛勝。
31(火)●米上院でオウム事件の公聴会。

ロイター／サンテレフォト

▶**ラビン首相暗殺（11月4日）**PLOとの歴史的和解をはかり、パレスチナ和平を推進してきたイスラエルの重鎮が、テルアビブで演説後、極右学生の凶弾に。倒れた首相の片足が見える。

◀**新食糧法施行（11月1日）**約半世紀にわたって続いてきた食管法を廃止し、コメの価格・流通を大幅に自由化。農家が消費者に直接販売することも可能になった。写真は東京・下北沢で。

共同通信社

読売新聞社

◀**ヒマラヤで邦人13人遭難（11月10日）**ネパールのエベレスト山群・ゴーキョ峰で、大規模な雪崩が発生。トレッキングツアー一行とガイドの26人が被害に。写真は救助隊。

共同通信社

▶**若貴、初の兄弟対決（11月26日）**大相撲九州場所千秋楽、横綱貴乃花（23）と大関若乃花（24）が12勝3敗で並び、優勝決定戦。若乃花が下手投げで勝った。

▶**ビートルズの新作発売（11月22日）**未発表曲やインタビューを録音したCD「ザ・ビートルズ・アンソロジー」が発売されると、若い女性たちが殺到した。写真は東京・渋谷のレコード店店頭で。

共同通信社

毎日新聞社

▶**ゆりかもめ開通（11月1日）**新橋から東京湾に架かるレインボーブリッジを経て、臨海副都心・有明まで無人の「新交通システム」が走った。都市博中止で厳しい出発となったが、初日の客足は上々。

平成7年11月

1（水）●新食糧法、施行（食糧管理法、廃止）。
2（木）●米金融当局、大和銀行に米国からの撤退命令（3日、大和銀行が住友銀行に支援を要請）。
3（金）●全日本体操で女子の朝日生命ク、一二連覇。
4（土）●イスラエルのラビン首相、テルアビブで暗殺。
5（日）●官官接待の原則廃止が八道県と、改善策調査。
6（月）●モンデール駐日米大使、「日米指導者は国民に安保の意義の説明を」と会見。
7（火）●国際司法裁判所の公聴会で、広島・長崎両市長が「核兵器使用は国際法に違反」と証言。
8（水）●国語審、「ら抜き言葉」認めないと中間報告。
9（木）●熊本大医学部、HIV感染者の遺伝子治療臨床研究を厚生・文部両省に申請。
10（金）●エベレストで雪崩が発生、日本人一三人死亡。
11（土）●ナイジェリア、環境保護活動家ら九人を処刑したことで英連邦加盟国の資格停止を受ける。
12（日）●アマ野球王座決定戦で三菱自動車川崎初優勝。
13（月）●江藤隆美総務庁長官、「植民地時代に日本は韓国によいこともした」のオフレコ発言で辞任。
14（火）●武村蔵相、歳入不足一一兆円以上で翌年度予算で七年ぶりの赤字国債発行と財政危機宣言。
15（水）●クリントン米大統領、共和党との対立から米政府機能の一部停止で訪日中止。
16（木）●韓国の盧泰愚前大統領、収賄容疑で逮捕。
17（金）●行革委規制緩和小委、NTT分割を支持。
18（土）●今後三年間、米の減反規模拡大、と農水省。
19（日）●APEC、自由化達成の「大阪行動指針」採択。
●浅利純子、東京国際女子マラソンで逆転優勝。
20（月）●ダイアナ妃、BBCテレビで不倫などを告白。
21（火）●青森・秋田両県の白神山地、入山規制へ。
●中国当局、民主活動家・魏京生を政府転覆容疑で逮捕（12月13日、初公判で懲役一四年判決）。
22（水）●石川県小松沖で空自F15が僚機を撃墜。
23（木）●大阪府高石市で毒グモ、セアカゴケグモ発見。
24（金）●九月中間決算で一一行の不良債権一三兆円超。
25（土）●新潟水俣病、患者と昭電工が解決への合意。
26（日）●大相撲九州場所で史上初の兄弟優勝決定戦。兄・若乃花が弟・貴乃花を破って優勝。
27（月）●新潟県上越市の中一男子、「いじめ」で自殺。
28（火）●日本ペンクラブ、再販制度廃止に反対を決議。
29（水）●ニューヨーク証券取引所、米国野村証券に自己資本規制ルール違反で罰金約一億円の命令。
30（木）●東京・大田区の民家に、郵便局強盗の男が侵入、幼児を人質に籠城（翌日、犯人逮捕）。

共同通信社

▼**横浜マリノス、初栄冠（12月6日）**東京・国立競技場のサッカーJリーグ王者決定戦で、ヴェルディ川崎に連勝。写真は、ヘディングを決めた主将・井原正巳。

日刊スポーツ

共同通信社

◀**中国、魏京生（44）に懲役14年（12月13日）**西側の批判を無視、政府転覆をくわだてた罪により、起訴から2週間で重罪判決。魏は中国の代表的民主活動家で、14年半の服役を終えていた。

▶**「合掌造り」世界遺産に登録（12月6日）**ベルリンで開催中の世界遺産委員会で決定。岐阜県・富山県の「白川郷（写真）・五箇山」に江戸末から明治に建てられ、今も人が住む88棟の民家とその集落が対象という、珍しい例。

朝日新聞社

読売新聞社

▲**カストロ議長、突然の初来日（12月12日）**アジア諸国訪問の帰途、成田到着。村山首相らと精力的に会談、米国のキューバ経済制裁解除へ支援を要請。

◀**マヤノトップガン快勝（12月24日）**千葉・中山競馬場での有馬記念で、菊花賞に続きGⅠに2連勝。田原成貴騎手は有馬記念最多勝タイの3勝。写真左端。

共同通信社

▲**今度は全斗煥元大統領（12月3日）**軍人政権時代の不正腐敗一掃に挑む金泳三文民政権が、前月の盧泰愚前大統領に続いて逮捕。1979年の粛軍クーデターで、盧とともに叛乱首謀の罪に問われた。

平成7年12月

1（金）●バレーボールW杯男子でイタリアが初優勝。
2（土）●岸和田市の木津信組支店現金盗難で職員逮捕。
3（日）●韓国の全斗煥元大統領、叛乱首謀容疑で逮捕。
4（月）●秋谷創価学会会長ら、参院で「宗教と政治」の参考人陳述（8日、宗教法人法改正案、成立）。
5（火）●最高裁、女性だけに離婚後六カ月間の再婚を禁じた民法は、違憲にあたらずと判決。
6（水）●東京地検、山口敏夫元労相を二信組問題をめぐる背任容疑で逮捕。
7（木）●行革委規制緩和小委、五三項目の報告書。
8（金）●敦賀市の高速増殖炉「もんじゅ」から液体ナトリウムがもれ、運転中止（動燃が事故隠し
9（土）●通産省、電子商取引実験を一月開始、と発表。
10（日）●福岡国際女子柔道で田村亮子が六連覇。
11（月）●国連総会、「旧敵国条項」の早期削除を決議。
12（火）●キューバのカストロ議長、初来日。
13（水）●首都機能移転を審議する調査会、東京から六〇～三〇〇キロなどの移転先選定基準を報告。
14（木）●パリでボスニア和平調印式（今後はNATO軍が入って停戦監視、兵力引き離し活動）。
15（金）●会計検査院、予算の無駄使い二四三億円報告。
16（土）●米政府の機能、再び停止し職員二八万人待機。
17（日）●ロシア下院選挙で共産党が第一党に。
18（月）●政府、ヘルパー増強などの障害者プラン決定。
19（火）●政府・連立与党、住専の不良債権処理で公的資金六八五〇億円投入を決定（世論は反発）。
20（水）●コロンビアで米旅客機墜落、一六〇人死亡。
21（木）●田中角栄元首相の遺産申告に、ファミリー企業株など七八億円の申告もれが明らかに。
22（金）●総人口一億二五五六万人で増加率戦後最低と。
23（土）●韓国プロ野球の宣銅烈投手、中日へ移籍決定。
24（日）●農水省、二〇一〇年の穀物国際価格が途上国の消費増で二倍に上昇、と見通し。
25（月）●東京電力差別訴訟、解決金推定二〇億円の支払いと在職者の昇進で一九年ぶりに和解。
26（火）●前月の完全失業率が三・四％、昭和二八年以来最悪に。完全失業者二二八万人。
27（水）●北海道庁、公費不正支出で六二三三人を処分。
28（木）●フィリピン残留日本人、二二二五人と外務省。
29（金）●武村蔵相、篠沢恭助事務次官の「省内の人心を一新するため」の辞任を了承。
30（土）●JR東海、二〇〇二年完成めざし新幹線の品川新駅を翌年度に着工と発表。
31（日）●原子力委、高速増殖炉開発計画再検討と発表。

快楽多市

◀ボーイング777型旅客機がこの年開発され、日本航空は翌年4月26日の羽田発鹿児島行きに就航させた。 日本航空提供

流行語

バブル消えて疲れOLふえる

「サボテン女」。几帳面で、仕事もバリバリこなしていたOLが、身なりもかまわず、ズボラになること。掃除や洗濯もせず、風呂にもあまり入らないので、サボテンのように水も手間もいらないという意味。「身だしなみ症候群」とも言う。

「大みそか」。やはりOL用語で、三一歳のこと。お嫁に行かれるかどうかの分岐点という意味。

「ピタT」。この年の代表的なファッションと言えば「へそ出しルック」。そのために、おへその整形手術をする若い女性がふえた。「ピタT」は、へそ出しルックのための体にぴったりしたTシャツで、スカートやジーパンのボタンを少しはずして決めた。

「スペシャト族」。背負いカバンの若者たち。そのかっこうがスペースシャトルに似ているというので、こう呼ばれた。

「サティアン」。小学生の間で、校舎のこと。この年は、オウム真理教用語が子どもたちの間にまで広がり、このほかにも、給食のことを「イニシエーション」と言ったり、野球などでミスした仲間に「ポアするぞ」などと言うことも流行した。

流行

美容は日本酒エキスで純米酒化粧品大当たり

〔神戸発〕酒のエキスを利用した化粧品が女性の間で受けている。

先鞭をつけたのは、灘の大関酒造の関連会社。化粧品メーカーとタイアップし、高級純米酒に薬草エキスなどをまぜたスキンクリーム、化粧水など六品目を製造、三月から"蔵元発・灘"の商品名で売り出した。これが女性に大好評、半年間に計二四万本（約二億円）も売れた。

この人気にライバルも黙っていない。「日本盛」の西宮酒造も、七月から、"日本美人"シリーズと銘うった洗顔クリーム、化粧品、美容液を売り出した。これらには、いずれも"吟醸"という冠言葉がつけられている。これまた大受けで、酒店などを通して一ヵ月で化粧品が一万六〇〇〇本、美容液も一万五〇〇〇本も売れた。「肌の潤いが長持ちする」とまとめ買いする女性も多いという。

（「週刊読売」一一月二六日号）

CM100年 テレビCF「芸能人は歯が命――アパガードM」（サンギ）タレント・東幹久

社会

就職も神頼み湯島天神のにぎわい

学問の神様、菅原道真公を祀る東京・湯島天神に、就職祈願で訪れる学生がふえている。超氷河期と言われる今年の就職戦線、入試でお世話になった天神サマに、もう一度お願いしようというわけ。

境内にズラリとぶらさがった絵馬には、入試の合格祈願にまじって、入社試験や公務員試験の合格を祈るものがけっこう目立つ。学生たちのこうした動きに、すかさず天神サマも、七月から「就職御守」を発売した。絵馬が八〇〇円、御守が七〇〇円、これまた、けっこうな売れ行きという。

（「週刊新潮」九月二一日号）

▶「ヤングマガジン」三〇号から連載開始の、しげの秀一「頭文字（イニシャル）D」。"走り屋"たちの熱い生き方を描いてヒット。この作品に登場した改造車も限定販売。

©しげの秀一 講談社

データ

学部長で八三万円弱 私大の先生の給料

大学の先生はどれくらいの月給をもらっているかを調べた。結果は、次のとおり（数字は平均）。

学部長＝八二万八七〇〇円（うち役付き手当九万三六三九円）

教授＝七二万一四八二円（うち役付き手当二七〇九円）

助教授＝五六万五六七四円

講師＝四六万七四〇二円

助手＝三三万五六二九円

（人事院給与局編「民間給与の実態」平成七年版）

◀二月一六日、東京・上野の「大黄金展」の目玉として一二〇キロの純金の金塊が登場。値段は約一億五〇〇〇万円という。

共同通信社

はやり歌

ズルい女

Bye-Bye ありがとう
さよなら 愛しい恋人よ
あんたちょっといい女だったよ
その分ズルイ女だね
今夜会えなかったね
淋しかったよ 会いたかったよ
僕のバースディ 今夜バースディ
会いたかったよ
Wo 気持ちいいこともそう
真珠もそう
あんたのため
高級レストランもそう 花束もそう
あんたのため
この日だけは
僕のためだよって言ったじゃない
なぜ来ない来ない来ない来ない
あんたは

▶デビュー三年目の「シャ乱Q」が花開いた「シングル・ベッド」に続く一四〇万枚のヒット作。全日本有線放送大賞受賞。

BMGジャパン提供

LOVE LOVE LOVE

作詞 吉田美和
作曲 中村正人

ねぇ どうして すっごくすごく好きなこと
ただ 伝えたいだけなのに ルルルルル
うまく 言えないんだろう……
ねぇ せめて夢で会いたいと願う
夜に限って いちども ルルルルル
出てきてはくれないね
ねぇ どうして すごく愛してる人に
愛してる と言うだけで ルルルルル
涙が 出ちゃうんだろう……
ふたり出会った日が
少しずつ思い出になっても
愛してる 愛してる ルルルルル
ねぇ どうして
涙が 出ちゃうんだろう……
涙が 出ちゃうんだろう
LOVE LOVE LOVE
愛を叫ぼう 愛を呼ぼう
LOVE LOVE LOVE
愛を叫ぼう 愛を呼ぼう

▲テレビドラマ「愛していると言ってくれ」の主題歌で、「ドリカム」ことドリームズ・カム・トゥルーの歌。

EPICレコード提供

◀絶滅した哺乳類、インドリコテリウムの骨格標本が、国立科学博物館に巨大な姿を見せた。

読売新聞社

三面記事

競走馬にも東大時代!?

ブームの中央競馬に、"東大出身"の競走馬がいる。名前はマキノブリテンダーと言い、正確には茨城県岩間町にある東大農学部附属牧場の生産馬。同牧場では、遺伝学の研究や獣医をめざす学生のため、毎年[illegible]頭を作っており、そのうちの一頭が競走馬としてデビューしたわけ。

デビュー以来、一〇月までの成績は、五戦して一勝、二着一回となかなかのもの。獲得賞金も[illegible]九万円に達した。セリの落札価格は[illegible]万円だったから、自分の値段の[illegible]倍以上稼いだことになる。

ちなみに東大出身馬は二頭目で、かつてタケデンフドウという馬がいて、皐月賞で四着に入ったこともある。管理する新関力調教師によると「意外な掘り出し物で、なんとかクラシックに出してやりたい」という。

（「FRIDAY」一一月[illegible]日号）

サラリーマン

会社よ、さようなら 漁師への転職希望殺到

〔松江発〕島根県隠岐諸島にある六つの水産会社が、就職情報誌の「B-ing」などで漁師を募集したところ、東京・大阪などの大都会から[illegible]〇〇件を超える問い合わせがあった。

これらの会社は、いずれも巻き網漁の船団（[illegible]船団、[illegible]五～四五人）を持っているが、若者の都会流出で慢性的な乗組員不足。そこで思い切って公募したところ、意外な反応があったもの。その半数が大卒サラリーマンで、漁業経験ゼロの人がほとんどだったという。

鳥取県境港市で面接試験が行われ、[illegible]七～五八歳までの[illegible]人が採用された。条件は、しけの日をのぞいて、年間[illegible]八〇日労働で、勤務は日没から夜明けまで。給料は固定給[illegible]〇万円以上と、水揚げ高に応じた歩合給。これで年収が四〇〇万～六五〇万円くらい。

採用された[illegible]人のほとんどは収入が減るが、「不景気で残業もなく、将来に希望もない。それなら海で希望の持てる生活をしたい」と張り切っている。

（「毎日新聞」大阪版、八月二〇日）

▲真夏日の連続日数が全国各地で最長を記録した暑い夏。28日には、大阪・天王寺動物園のシロクマに氷柱を差し入

海外

セックスで視力低下 米専門誌の親切助言

〔ニューヨーク発〕全米医学協会の眼科専門誌が「激しいセックスは視力を低下させる」と発表した。レポートによると、激しいセックスをすると、眼球の裏のデリケートな組織が破壊されたり、細い血管が切れることがある。その結果、視力が低下し、一五センチ先においた自分の手の指が数えられない人もいた。ただし、この現象は片眼だけ。治るという。

ちなみに、根拠になったデータは二四～五三歳の六人。学問と言うにはデータ不足だが、同誌は発表した理由を「思いあたる人はたくさんいるはず。データは少なくても因果関係、治療法もしっかりしていることを理解させ、安心してもらうため」と説明している

（「週刊宝石」七月[illegible]日号）

この年の初もの

女性専用ボクシングジム 東京・五反田にオープン

●**昼寝屋さん** 大阪のオフィス街のビルで店開き。[illegible]人寝用テント、[illegible]分[illegible]円

●**装蹄師の学校** 宇都宮市の中央競馬会育成牧場内に開校。女性[illegible]人を含む[illegible]六人が入校

●**「いじめ」解消請負業** [illegible]月、徳島市に開設。「いじめ」の相手を説得し、学校の協力を求める

▲1月16日、世界初の「一輪車駅伝」が東京・荒川河川敷の周回コース、6区間 42.195キロで開催され、小学生から52歳までの200人余が参加。

朝日新聞社

秋葉原も仰天した「パソコン新時代」の到来
全世界で一億本も売れたビル・ゲイツの自信作
「ウィンドウズ95」日本発売の大騒動！

「まったくの素人でもパソコンを自由に使いこなせる！」——。マスコミを総動員した一大宣伝戦を展開し、大ヒットとなった「ウィンドウズ95」。パソコン大衆化時代突入の仕掛け人、ビル・ゲイツはこれにより巨万の富を得、五年連続で世界の大富豪の頂点に君臨し、世界のパソコン業界を制圧したのである。

四日で二〇万本、二八億円 ブレイクした最新版OS

「スリー、ツー、ワン、ゼロ」

平成七年一一月二三日、深夜零時のカウントダウンに、山のような群衆が唱和し、「ゼロ」と叫ぶと同時に、長蛇の列をなした人々が我先に、歓声をあげながら店内になだれこんでいく。秋葉原だけで、三〇〇〇人が集まったという。

「何しろ、後にも先にも秋葉原があれほど盛り上がったことはありません。前景気が盛り上がるだけ盛り上がっていましたから、何が起こるかわからないので、パソコン以外の売り場担当を五〇人も応援に来させて、戦場みたいな騒ぎでお客様に対応しました」（石丸電気本店・桑木野茂樹店長）↖

▶平成7年11月23日午前零時、花火が上がり、ファンファーレが鳴る中、東京・秋葉原の電気街で「95」の発売が開始された。

マスコミをはじめ、あらゆるメディアを総動員した「ウィンドウズ95」（以下「95」）発売当日の出来事である。たとえば発売当日の「日本経済新聞」には、マイクロソフト社の四ページにわたる全面広告をはじめ、パソコン関連一九社の広告がずらりと顔をそろえた。後に広告業界では、これを「アド・ジャック」と名づけたのである。パソコンショップのフィーバーぶりは電波や雑誌はもちろん、「朝日新聞」など全国紙の一面に写真入りで報道され、全国に「パソコン新時代」の到来を印象づけた。

ずぶの素人でも、買ってすぐコンピュータが使える、というふれこみが大ブレイクを招き、「95」はわずか四日間で二〇万本を売り上げた。標準価格は一万三八〇〇円だったので、単純計算で二七億六〇〇〇万円を売り上げたことになる。

「95」とは何か。コンピュータには、ユーザーのやりたい仕事を機械に伝達するOS（オペレーティング・システム）と呼ばれるものが不可欠だ。「95」はそのOSの最新版だった。「95」には多くの先端技術が導入されたが、その中で、最大の改良点が高速で安定感の高いものになったことだ。

「95」は、折からのパソコンブームの裾野を決定的に広げたのだった。

実際、「95」によって、パソコンの販売台数も跳ね上がった。当時、一セット二〇万円以上だったが、平成八年度の販売台数は、前年度に比べて三四パーセント増という驚異的な数字を記録したのである。

「パソコンをいじったことのない人まで来店されました。中にはパソコンもないのに「95」だけを買ってしまったお客様もいたほどです」（前出・桑木野店長）

五年連続、米国一の富豪 ビル・ゲイツの野望とは

「私はパソコン用のOS（MS-DOS）でIBMを瀕死に追いこんだ。『ウィンドウズ3.1』でアップルにとどめを刺しつつある。次は『ウィンドウズNT』で『UNIX』を壊滅させる」

一九九三年、企業向けの「ウィンドウズ」である「NT」発売に際してマイクロソフト会長のビル・ゲイツ（当時・三八歳）が言い放った言葉だ。

もとはと言えば一介のベンチャー企業の会長が、大型コンピュータの世界で「巨人」と言われたIBMをパソコンで翻弄し、次は企業向けワークステーションのOS[illegible]コンピュータ業界全体を支配下におくと公言しているのである。

一九五五年一〇月二八日、アメリカの名家に生まれたゲイツは、一九歳で、マイクロソフト社を興し、本格的にソフトウェアビジネスへと身を投じる。

そして一九八〇年、年商七〇〇万ドル、従業員四〇人を擁するゲイツに、大きな転機が訪れる。IBM社からパソコン向けOSの開発依頼が来たのだ。マイクロソフト社の実力に、「巨人」が頭を下げてきたのである。だが、この時、ゲイツは珍しく躊躇したという。

マイクロソフト社は、それまでアプリケーションソフト専門に開発してきた。そのマイクロソフトがOSも開発することは、これまでパートナーだったOSメーカーを商売敵にすることにほかならない。この時、苦悩するゲイツに受注するよう説得にあたったのが、当時のマイク

▲海外で大量に出まわった、25ドルの海賊版を手にするモスクワの少年。

三宅島から自然保護を訴えるモイヤーの悲しみと憤り

——佐伯 修

「三宅島の自然は一九五二年の夏の朝には、けっして戻らないのである」

伊豆七島の三宅島の自然に魅せられ、島に住みついた、アメリカ・カンザス州生まれの海洋生物学者、ジャック・T・モイヤー（一九二九〜）は、この年に出版された立松和平との共著『南の島から日本が見える』の中で、悲しみと憤りをこめて述懐している。戦後、小さな島の自然が、人間社会の都合から余儀なくされた変化は、日本列島全体の自然環境と野生生物の運命の縮図であった。同書で、モイヤーは言う。

「六〇年代になっても、島では自然とほどよいバランスを保って暮らしていた。地域で必要なものしか採取することはなかった。しかし七〇年代にすべてが変わった。『離島ブーム』という観光がさかんになり、（中略）七〇年代初頭のイタチの悲劇的な導入が始まった。一九八三年には火山の爆発とそれにともなう経済荒廃が三宅島の人びとを襲った。また八〇年代はバブル経済の到来とリゾート法が施行された時代でもあった」。文中にある、本来島にいなかったイタチの持ちこみは、オダカトカゲや、アカコッコなどの鳥類を激減させた。

▶東京でアメリカン・スクールの教師をつとめた。 横山泰介「ダイビング ワールド」

モイヤーが初めて島を訪ねたのは、朝鮮戦争の最中の一九五二年七月二二日のことだった。当時、米空軍の下士官として日本に駐留していた彼は、島にある海鳥・カンムリウミスズメの貴重な営巣地を調査、それが米軍の爆撃訓練によって危機にさらされていることを大統領側近に直訴し、営巣地を救う。以後、頻繁に島を訪ねるようになった彼は、島に自分の研究所を設け、クマノミなど、魚類の動物行動学的研究にも多くの業績をなした。そして、近年は都会の子どもに島の自然を体験させ、ナチュラリストの精神を伝える「三宅島自然キャンプ」などの試みを熱心に続けている。

そんなモイヤーはまた、カンムリウミスズメの一件以来、三宅島への米軍夜間離着陸訓練（NLP）場建設問題など、多くの自然保護運動にかかわってきたが、同時に、自然保護の主張は、地域の人間社会の幸福を犠牲にするのではなく、それと両立しなければならないことも強調している。

翌一九九六年刊行の著書『モイヤー先生、三宅島で暮らす』は、ともすれば、人間よりも自然ばかりに熱中しがちだった彼にこんな認識をもたらした、三宅島の島民との触れ合いを具体的に綴ったものだが、この本の中で彼はまた、日本で左右両派から政治的に利用されることなく自然保護運動を展開する困難さにも言及している。

ロソフト唯一の日本代理店であるアスキー社社長の西和彦だった。結局、ゲイツは西の説得でOSの開発にゴーサインを出すが、もし西がいなければ、マイクロソフト社の今日の地位はなかったかもしれない。

〝ゲイツ商法〟の典型は、インターネットを閲覧する際の必需品である閲覧ソフトの商戦に現れた。この分野で出遅れていたマイクロソフトは、ソフトをなんと「95」と抱き合わせで無料で配布してしまったのである。世界のパソコンの八割はもはや、「95」なしでは動かない。この強みを武器に、他社ソフトの締め出しをはかったのである。さらに後継のバージョンの「ウィンドウズ98」では、閲覧ソフトをOSと一体の設計にしてしまう。これにより、同社製ソフトがトップシェアとなるのも時間の問題となった。しかし一方では、マイクロソフトの強引なやり口は法廷で争われている（一九九八年現在、係争中）。

ゲイツにも、挫折がなかったわけではない。一九八五年に発売した初代「ウィンドウズ」の評判は最悪だった。マイナーながら根強いファンを持つ「マッキントッシュ」の「出来の悪い亜流」、と酷評されたのだ。だが、続く「ウィンドウズ3.1」は世界で六〇〇〇万本を売り尽くす大成功をおさめたのである。そして「95」も、世界で一億本を突破している。その結果、マイクロソフトの株式時価総額は、一九九六年九月現在で二六一一億ドルになり、ゼネラル・エレクトリック（GE）社をしのぎ世界の企業の頂点に立った。ゲイツ自身も、一九九八年には五年連続して米国一の長者となっている。

「ゲイツ氏は、天才的な商才を持ちながらも努力を忘れない人。これまで同様努力を続ければ、一〇年後も彼の地位は揺るがないでしょう。ただし、日進月歩の技術への対応を間違えば足をすくわれるかもしれませんが……」（西和彦氏）

ウイリアム・ヘンリー・ゲイツ三世（1955〜）
マイクロソフト社会長。コンピュータ業界の覇者。父はアメリカ・シアトルの有名な弁護士。ハーバード大学数学科中退。資産、約八兆円。

◀一九九五年九月、ゲイツ（中央）は中国・北京を訪れ、江沢民国家主席（右から二人目）と会談した。 ロイター サンテレフォト

往きて還らぬ

▲11月23日　ルイ・マル(63)
仏の映画監督。デビュー作「死刑台のエレベーター」(1957年)が大ヒットしヌーベルバーグの先駆となった。

▲12月1日　田宮高麿(52)
赤軍派のリーダーで、昭和45年日航機「よど号」をハイジャックして北朝鮮に亡命。平壌に滞在、心臓麻痺で死亡。

▲12月25日　ディーン・マーチン(78)
米の歌手で、ジェリー・ルイスとコンビの喜劇映画で人気を集めた。"フランク・シナトラ一家"の一員でも有名。

▲8月30日　山口瞳(68)
小説家。寿屋（現・サントリー）宣伝部出身。昭和38年「江分利満氏の優雅な生活」で直木賞受賞。エッセー「男性自身」。

▲9月14日　岡田英次(75)
映画俳優で、社会派スター。昭和25年「また逢う日まで」で久我美子とのガラス越しのキスシーンが大きな話題に。

◀7月5日　福田赳夫(90)
政治家。蔵相、外相などを歴任、昭和五一年首相となる。五三年、日中平和友好条約を締結。安定成長論者だった。

▲9月15日　渡辺美智雄(72)
政治家。副総理・外相をつとめ、総裁選に2度挑戦したが逃す。"ミッチー節"と呼ばれた語り口は、数々の失言も

▲2月24日　兵藤（旧姓・前畑）秀子(80)
昭和11年ベルリン五輪の[illegible]で日本女性初の金メダル。[illegible]「前畑がんばれ」[illegible]

▲5月8日　テレサ・テン(42)
台湾出身の人気歌手で、1974年デビュー。「つぐない」「時の流れに身をまかせ」などがヒット。[illegible]

▲7月31日　山野愛子(86)
美容家。山野美容専門学校創設者。16歳で美容院を開業。[illegible]

▲1月5日　和達清夫(92)
初代気象庁長官。地震学の世界的権威で、日本学術会議会長などもつとめた。昭和60年文化勲章受章。著書『地震』。

▲1月12日　入江たか子(83)
映画女優。戦前「滝の白糸」などがヒットしスターに。戦後は妖艶な化け猫を演じて"化け猫女優"と呼ばれた。

▲2月9日　J・W・フルブライト(89)
米の政治家。フルブライト交換留学生制度（1946年創設）の生みの親として知られ、日米交流に尽くした。

ミニ事典
1995年のキーワード

「かいこう」
海洋科学技術センターが建造した一万メートル級有索無人深海探査機。母船から海底近くまで一次ケーブルで接続したランチャーをおろし、二次ケーブルでつながれた探査機が海底を動きまわる。この年三月二四日、マリアナ海溝南部のチャレンジャー海淵の海底に到達、圧力深度計が一万九一一メートルをさし、世界最深を確認した。カメラやロボット・アームも装備、深海の撮影、試料採取も可能である。

▶三月二四日、深海探査機「かいこう」は、一万九一一メートルの海底に到達。

共同通信社

戦後五〇年国会決議
戦後五〇年を契機に、過去を反省し、平和への決意を新たにすることをうたった決議。六月九日、衆院で採択。もともと与党・社会党が提起、太平洋戦争での侵略を謝罪し不戦を誓う、アジア諸国との関係回復をはかる決議になるはずだったが、反対派をかかえる自民党が抵抗、右翼団体も謝罪決議だと反対。最終的には連立政権維持で自民党が譲歩、「侵略的行為や植民地支配」への反省が明記された。採決は過半数ぎりぎりだった。

池上曽根遺跡
大阪府和泉市と泉大津市にまたがる弥生中期の終わり頃（一世紀頃）の環濠集落。同様の佐賀県吉野ケ里遺跡より古く、日本最古とみられる。六月一六日、公園整備工事にともなう発掘調査で巨大な高床式建物跡を発掘、直径二メートルもある井戸も出土と発表。遺跡整備委員会による と中国文化の影響があり、建物は正確に南北を意識して造られていた。

「風説の流布」罪
有価証券の募集や売り出し、売買などの際に、虚偽の情報を流して株価を操作すること。証券取引法一五八条で規制。六月二三日、証券取引等監視委員会が平成四年発足以来初めて、ソフトウェア開発会社・テーエスデーをこの罪で東京地検に告発。同社はエイズワクチンの開発計画というニセの情報を流して、自社株のつり上げをはかっていた。

日米航空交渉
日米航空協定における以遠権不均衡が議題となった話し合い。米国のフェデラル・エクスプレス社による日本経由アジア便申請の認可を、日本が渋ったことが端緒。日米間では相手国経由で第三国へ定期航空便を設ける以遠権は、米側にはあったが、日本側は欧州とブラジルのみに制限されていた。七月二一日、日本がフェデラル社の申請を認可する代わりに、米国は関西空港発の米国経由カナダ便を認可するなどで妥協。しかし不均衡の根本的な解決はならず。

官官接待
地方自治体が補助金獲得のため、「食糧費」を使って中央官僚を接待すること。食糧費は、一般には使い道も金額もわからない。全国市民オンブズマン連絡会議は、七月二九日、情報公開制度を利用して調査してきた平成五年度分の、全国自治体の食糧費消費の実態を発表。官官接待の総額は四〇道府県で約五三億円にも達し、芸者の花代にまで使われる乱費ぶりが明らかになった。

遺伝子治療
正常な遺伝子を患者に導入して、疾患を治療すること。患者の体内に直接遺伝子を送りこむ方法と、患者から取り出した細胞に遺伝子を組みこんで体内に戻す方法とがある。一九九〇年、米国で酵素欠損症の患者に対して行われたのが世界初。日本では、平成七年八月一日、北大附属病院で同じ疾病の患者に実施したのが最初。今後、癌、エイズなどへの応用が期待されるが、安全性・倫理性について、なお議論の余地がある。

共同通信社

▲8月1日、北大附属病院で免疫不全の男児に、国内初の遺伝子治療が開始された。

選択的夫婦別姓制度
夫婦のそれぞれが、結婚後もそれ以前の姓を名乗れる制度。現行民法が夫婦同氏を定めているのは、妻の改姓が九七・五パーセントにおよぶ以上、男女不平等で家制度を助長する、などの批判から生まれた。九月一二日、法制審議会民法部会で改正へ向けての中間報告が行われたが、別姓導入は家族関係を壊すなどの反対論も強く、決着はついていない。

DVD
デジタル・ビデオ・ディスク。直径一二センチのディスクに、MPEG2（国際標準規格）に準拠した技術で映像データを圧縮・収録するニューメディア。東芝・松下など七社のSD規格とソニー・フィリップスのMMCD規格が争ったが、九月一五日、SD規格に統一。四・七ギガもの記憶容量から、オーディオやコンピュータのROM、RAMなどマルチメディアへの展開が期待された。

陪審評決
司法への市民参加を制度化した陪審制に基づき、法廷に提出された証拠から素人の陪審員が事実関係を審理して下す有罪・無罪の評決。無罪評決の場合、検察側は控訴できず、そのまま確定する。英米で発達した制度。前妻とその男友達を殺した罪に問われた元アメフトの黒人ヒーロー、シンプソンに、一〇月三日、黒人主体の陪審員が無罪を評決、この制度の功罪があらためて注目を集めた。

ロイター・サンテレフォト

▲10月3日、無罪評決にO・J・シンプソンはガッツポーズ。

オフレコ問題
江藤隆美総務庁長官が、戦前の日本の朝鮮支配について「日本は韓国にいいこともした」と発言、韓国の非難をあびて一一月一三日辞任した事件で、発言した場が記者会見でなく「記者懇談」の場だったために起こった問題。記者懇談は従来、外部にはもらさないオフレコが慣例で、記者はそれを事件や情報の裏事情を得るための方便として利用してきた。

週刊YEAR BOOK／日録20世紀 1995

CONTENTS

●編集
講談社総合編纂局
アート・ディレクター 山口至剛
表紙デザイン 山口至剛デザイン室（茂村巨利）＋渡邉裕
本文レイアウト デザインオフィス八起き
編集協力 有エービーシープレス 株カマル社 株コミュニケーションハウス・ケースリー シド・プロ 有マックス 有マライカ
飯田守 小原伸夫 鍵和田良輔 菊地美優貴 小松邦宏 張替政展
藤森雅弘 森邦久 結城順・ 吉田忠正

●写真協力
大橋俊夫 久米洋・ 後藤始久 小林忠春 しげの秀・ 高沢皓司
筒井方里 霜田圭吾 永山竜叶 アンディ・ヘルナンデス 松本昌久 横山泰介 ロイ・リキテンスタイン遺族
朝日新聞社 インペリアル・プレス AFP AP GAMMA LIAISON 共同通信社 サンテレフォト 時事通信社
イビング ワールド」編集部 中日新聞社 日刊スポーツ PANA通信社 「FRIDAY」 報知新聞社 毎日新聞社 山梨日日新聞社 読売新聞社 連合出版 ロイター WWP
東幹久事務所 EPICレコード 松竹 大映 日本航空 日本テレビ 博報堂 BMGジャパン
アンディ・ウォーホル財団 近代映画協会 東海大学海洋科学博物館 東京都現代美術館 美術著作権協会

100年をつくる会社。

土木と建築、という2つの大きな顔を持っている鹿島。
みなさんの安全で快適な暮らしの土台を、
いつの時代もしっかりと丁寧につくってきた会社です。
そんな私たちですが、これからのことを心配しています。
自然のことや環境のこと、そしてエネルギーのこと、
ますます高齢化していく社会のことが気になります。
そんな課題を総合建設会社として何とか解決できないか。
すぐには正解を出せないかもしれませんが、私たちはモノづくりを通して、
その問いに応えていきたいと思います。

この先の100年を見据えたモノづくりへ。鹿島です。

■北海道／苫東火力発電所、北空知頭首工、泊原子力発電所、十勝大橋、金山ダム、道央自動車道野幌工区、道央自動車道常磐トンネル、高見ダム、新冠ダム、札幌グランドホテル、ホテルモントレ、パルコ、地下鉄南北線大通駅、地下鉄東豊線大通駅、札幌センタービル、ニッセイ南一条ビル、三越札幌店、札幌テレビ放送会館、日本団体生命札幌ビル、日本生命北門館ビル、安田火災北海道ビル、北海道厚生年金会館、第一滝本館、東邦生命ビル、北海道縦貫自動車道清水トンネル、恵庭カントリー倶楽部クラブハウス、帯広第一病院、穂別ダム、苫小牧シーバース、苫小牧市庁舎、三井観光苫小牧ゴルフクラブ、苫小牧カントリー倶楽部、北海道石油共同備蓄基地、函館市庁舎、日本銀行函館支店

■東北／青森空港、青森ベイブリッジ、青函トンネル、青森県立中央病院、下湯ダム、玉川ダム、あきたスカイドーム、秋田石油備蓄基地、秋田空港、あきた北空港、山瀬ダム、久慈地下石油備蓄基地、岩手県庁舎、ホテル安比グランドタワー、マリオス、岩手県民会館、御所ダム、盛岡駅、庄内空港、神室ダム、山形市庁舎、山形しあわせ銀行本店、東北電力女川原子力発電所、七十七銀行本店、鳴子ダム、七ヶ浜国際村、仙台スタジアム、竹駒神社新社殿、141ビル、新富谷ガーデンシティ、会津大学、福島空港、福島県立美術館、東京電力福島原子力発電所、日中ダム、東北電力原町火力発電所

新潟県漁連佐渡油槽所

■北陸／東京電力柏崎刈羽原子力発電所、新潟県庁舎、妙見堰、当間高原リゾート、北陸電力志賀原子力発電所、加賀百万石時代村、能登島ゴルフ場、北陸電力本社ビル、太閤山カントリークラブ、北陸電力有峰第一発電所、動燃もんじゅ発電所、九頭龍ダム

■関東／群馬銀行本店、草木ダム、奈良俣ダム、栃木県庁第二庁舎及び議会棟、川治ダム、東海原子力発電所、日立シビックセンター、外郭放水路、志木ニュータウン、西武ドーム、ワールドビジネスガーデン、京浜・京葉工業地帯、サンシャイン60、貿易センタービル、新宿副都心超高層ビル群、霞が関ビル、東京都庁舎、東京駅、国技館、東京臨海副都心、東京湾アクアライン、横浜銀行本店、宮ヶ瀬ダム、上大岡駅前再開発、神奈川県庁舎

■中央高地／東海北陸自動車道鷲見高架橋、岐阜柳ヶ瀬アーケード、オテルド・マロニエ下呂温泉、奈川渡ダム、エムウェーブ、荒川ダム、甲府市街地再開発柳町4Eビル

■東海／矢作ダム、明治村帝国ホテル、伊勢湾シーバース、愛知県庁西庁舎、名古屋港中央大橋、愛知県警本部庁舎、名古屋港水族館、アクトシティ浜松、丹那トンネル、静岡市庁舎、サイクルスポーツセンター

■近畿／大津プリンスホテル、ホテルオークラ神戸、明石海峡大橋、姫路市庁舎、兵庫県警庁舎、兵庫医科大学、貿易センタービル、関西国際空港、大阪学院大学、大阪シティエアターミナル、大阪ビジネスパーク駅、松下ツイン21ナショナルタワー、大阪国際見本市会場、大阪駅前第4ビル、大阪東京海上ビル、読売テレビ、近鉄四日市駅高架、三重県警本部庁舎、中部電力三重開閉所、三重大学農学部、四日市ドーム、近畿高速道路、住友金属和歌山工場、ポルトヨーロッパ

茶間川橋

■中国／山陽新幹線、中国自動車道、山陽自動車道、中国電力島根原子力発電所、出雲ドーム、岡山県立美術館、ホテルグランヴィア岡山、水島コンビナート、温井ダム、中国電力本館ビル、広島イースト、広島全日空ホテル、中国新聞社社屋、出光興産徳山精油所、東洋工業防府工場、山口県県庁舎本館棟

■四国／四国電力本社ビル、南北備讃瀬戸大橋、来島大橋、川崎重工業坂出工場50万トンドック、大塚製薬潮騒荘、アミコビル、正木ダム、愛媛県文化ホール、伊方発電所、波方ターミナル、トップワン四国、本川発電所

■九州／新日鉄戸畑製鉄所、小倉駅ビル、新幹線関門トンネル、小倉興産16号館、道路公団関門橋、福岡県庁舎、筑後大堰、地下鉄中洲川端駅、福岡市庁舎、厳木ダム、呼子大橋、南長崎ダイヤランド、ハウステンボス、上五島石油備蓄基地、三菱重工業長崎造船所香焼100万トンドック、新日本製鉄大分製鉄所、大分県立病院、九州石油大分製油所、天草架橋4号橋、熊本県庁舎、肥後トンネル、矢獄トンネル、上椎葉ダム、宮崎県立美術館、加久藤トンネル、鹿児島空港、鹿児島大学医学部、日本石油喜入石油基地

■沖縄／沖縄石油基地、熱帯ドリームセンター

雑誌 23714-1/26 T1123714010567
Ⓛ 2001/1/1

印刷 凸版印刷株式会社 製本 大村製本株式会社